

アクションプラン評価

所属名	教育委員会(事務局) 教育総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 総括 <input type="checkbox"/> 地方機関
-----	------------------	---

(1)項目	3:学校教育を支える教育環境の充実 (4)安全・安心な教育環境の整備 【目指すところ】 ①公立学校の耐震化 ②学校内外の安全確保 ③安全・安心な学校給食 ④学校図書館の整備の推進と教材整備の推進 ⑤修学資金の支援 ⑥校庭の芝生化
-------	---

①公立学校の耐震化

取組の方向
○公立学校の耐震化 ・県立学校については、計画的に学校施設の耐震化を促進します。また、非構造部材の耐震対策を進めるための耐震点検の取組を推進します。

事業・取組名
県立学校耐震化推進事業 教育財産管理事業費

最終評価

担当課 自己評価	<h1 style="font-size: 2em;">A</h1> 目的・目標を達成した。	評価理由	【教育環境課】 ○県立学校の耐震化は、ほぼ計画どおり進捗している。公立小中学校の耐震化は、20回体(米子市日吉津村中学校組合を含む)中14回体で耐震化を完了している。
-------------	---	------	---

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(年度末現在)	成果
【教育環境課】 ○県立高等学校については、平成25年度に8校13棟の耐震化工事を実施した。 ○公立小中学校については、国による財政支援策や県の取組状況について情報提供を行い、早期の耐震化完了に向けて働きかけを行っている。 ○県立学校の非構造部材の耐震対策については、全ての屋内運動場等の点検を実施した。	【教育環境課】 ○県立高等学校については、平成25年度末までに93棟の耐震化工事を完了、平成25年度末には鳥取西、米子東、八頭の3校を除き耐震化が完了した。 ○公立小中学校については、平成25年度末までに1市11町1村1組合で耐震化が完了。
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
【教育環境課】 ○県立高等学校については、鳥取西、米子東、八頭の3校に係る耐震化の早期完了。 ○公立小中学校については、耐震化が完了していない3市2町における耐震化の早期完了。 ○県立学校の非構造部材の耐震対策については、屋内運動場等の対策を平成27年度までに完了するとともに、その他の校舎棟についても、出来る限り早期の完了が必要。	【教育環境課】 ○県立高等学校については、予算及び執行体制を確保し、引き続き耐震化の早期完了に向けて取り組む。 ○公立小中学校については、国による支援策を活用した取り組みを働きかける。 ○県立学校の非構造部材の耐震対策については、屋内運動場等の耐震対策工事に着手し、平成27年度までに完了するとともに、その他の校舎棟は平成26,27年度の2か年で点検を実施する。

2

②学校内外の安全確保

取組の方向
○学校内外の安全確保 ・モデル地域を指定して、実践的な防災教育の実践を行い、その成果を他地域に普及するとともに、防災教育に関する専門的な研修の実施や関係機関との連携により学校における防災教育を推進します。 ・学校と地域社会やボランティア等との連携による子どもの安全確保への取組を推進します。具体的には、スクールガードリーダーの巡回や学校安全ボランティア等の子ども見守り活動支援、学校安全に関する専門的な研修の実施、通学路の安全対策の充実・強化などにより、学校と地域が一丸となった子どもの安全確保への取組を推進します。 ・情報モラル教育については、安全に生活するための危険回避(情報安全教育)と正しい判断や望ましい態度を育てるという両面を体系的に推進します。【再掲2-(4)】 ・県立学校施設・設備の点検、修繕等を実施して、安心・安全な学校環境づくりを進めます。

事業・取組名
教育施設管理費 教育財産管理事業費

さわやかな学校環境創出事業
 学校支援ボランティアの全県展開
 ケータイ・インターネット教育啓発推進事業
 学校における防災教育推進事業
 学校・家庭・地域連携学校安全体制推進事業
 防災教育コーディネーターの配置

最終評価

<p>担当課 自己評価</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p>ほぼ計画(予定)どおり推進している。</p>	<p>評価理由</p> <p>【教育環境課】 ○県立学校の施設設備の修繕、点検等は、安全面を最優先した上で、学校の希望にも配慮しながら対応している。</p> <p>【小中学校課】 ○学校支援ボランティア事業について、コーディネーターや学校担当者対象の研修会をスケジュールをどおり開催することができた。今年度の目標値16市町村(事業への参加市町村数)を達成することができた。</p> <p>【家庭・地域教育課】 ○学校支援ボランティア事業の取組学校数が8校増えた。 ○社会全体で子どもたちを育む支援者(学校支援ボランティア、コーディネーター)の資質向上を図るための研修会で中学校の事例発表が行われるようになり取組の広がりがあつた。 ○ケータイ・インターネット研修会への講師派遣の依頼が昨年度より大幅に増えた。</p> <p>【スポーツ健康教育課】 ○防災教育コーディネーターの学校における指導助言により、効果的に県内学校に防災教育を進めることができた。 ○「学校における防災教育研修会」を開催し、教職員の指導力の向上と意識の高揚を図ることができた。 ○県の防災教育の推進に向け、県防災教育推進委員会を開催し、県の防災教育の推進やモデル地域の取組について、成果検証を行い、次年度に向けての課題が明確になった。 ○モデル地域(1地域)を指定し、実践的防災教育の実践を行うことができた。 ○学校へ防災の専門家を派遣することで、土砂災害や津波を中心にした防災教育の充実を図ることができた。 ○関係課と連携し、通学路の安全対策を進めることができた。 ○地域ぐるみ学校安全体制整備事業を実施することで、学校・家庭・地域が連携して子どもの安全を確保することができた。</p>
---------------------	---	---

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(年度末現在)	成果
<p>【教育環境課】 ○施設設備の安全を確保するため、定期的な点検や必要な修繕を行っている。</p> <p>【小中学校課】 ○学校支援ボランティア事業について、16市町村(学校組合)教育委員会が取り組んでいる。多くの学校が児童生徒の安全な生活のために、地域と連携して学校整備や登下校時の安全指導などに取り組んだ。</p> <p>【家庭・地域教育課】 ○社会全体で子どもたちを育む支援者(学校支援ボランティア、コーディネーター)の資質向上を図るための研修を実施した。 ○今後のケータイ・インターネット教育に役立ててもらうため、平成24年度に実施した「ケータイ・インターネット利用に係るアンケート」の結果を学校および関係機関に配布した。 ○ケータイ・インターネット研修会への講師派遣を行った。</p> <p>【スポーツ健康教育課】 ○県教委に配置した防災教育コーディネーターが学校に出向き、「鳥取型防災教育の手引き」の普及と合わせて、より実践的な避難訓練や防災教育の取組について個別の指導助言を行った。 ○7月2日に鳥取県学校における防災教育研修会を開催した。 ○県の防災教育の推進に向けて、7月24日・2月28日に県防災教育推進委員会を開き、県の防災教育の推進やモデル地域の取組について協議を行った。 ○モデル地域を鳥取市湖東地区に指定し、実践的防災教育の取組を実施した。 ○県消防防災課や県治山砂防課等と連携し、学校への防災教育専門家を派遣を行った。 ○5月20日・3月28日に県関係課による通学路安全対策会議を開催した。 ○2月27日関係機関と連携した学校安全(交通安全・防犯)研修会を開催した。 ○地域ぐるみによる子どもたちの安全確保を行うため、地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業を活用した取組を3町が実施した。</p>	<p>【教育環境課】 ○施設設備の点検、修繕を実施することで、安心安全な学校環境づくりにつながっている。</p> <p>【小中学校課】 ○学校支援ボランティアの良さが認められ、智頭町、及び鳥取市の小中学校が新たに加わった。登下校の安全指導を通して、地域と方との交流が深まると同時に地域全体の防犯意識が高まった。環境整備では、ボランティアの方の専門性を生かした活動ができた。</p> <p>【家庭・地域教育課】 ○学校支援ボランティア事業の実施学校数が増えて、地域全体で学校を支援する気運がさらに高まりつつある。 ○ケータイ・インターネット研修会への講師派遣の依頼件数は245件であった。※昨年度実績150件</p> <p>【スポーツ健康教育課】 ○防災教育コーディネーターの学校における指導により、効果的に防災教育を進めることができた。 ○「学校における防災教育研修会」を開催し、教職員の指導力の向上と意識の高揚を図ることができた。 ○県の防災教育の推進に向け、県防災教育推進委員会を開催し、県の防災教育の推進やモデル地域の取組について、成果検証を行い、次年度に向けての課題が明確になった。 ○モデル地域を指定し、実践的防災教育の実践を行うことができた。 ○学校へ防災の専門家を派遣することで、土砂災害や津波を中心にした防災教育の充実を図ることができた。 ○関係課と連携し、通学路の安全対策を進めることができた。平成24年度に実施した緊急合同点検における対策必要箇所は全ての箇所において何らかの対策を実施及び対策予定の箇所となる。平成25年度の新規箇所については順次対策中である。 ○地域ぐるみ学校安全体制整備事業を実施することで、学校・家庭・地域が連携して子どもの安全を確保することができた。</p>
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
<p>【教育環境課】 ○限られた予算の中で、学校から出される修繕の要望全てに対応することは困難な状況がある。</p> <p>【小中学校課】 ○コーディネーターを置くことで、ボランティアの活動が円滑になることや、ボランティアが入ることで、子ども・保護者・教員の意識が変化</p>	<p>【教育環境課】 ○施設整備の安全を最優先した修繕を行うとともに、必要な予算の確保に努める。</p> <p>【小中学校課】 ○学校支援ボランティア実践事例集等を活用した情報提供を充実させる。また、各教育局担当者と連携をより密にし、未実施市町村の状</p>

り、教育活動そのものにも良い影響を与えることなどを未実施の市町村教育委員会に対して、引き続き伝えていく必要がある。

【家庭・地域教育課】
 ○環境整備、子どもの見守り、読み聞かせなどの活動は広がっているが、今後は、学習支援活動の事例を広めることが必要。
 ○情報モラルについての取組の重要性が高まっており、現在の取組についての検討が必要。
 【スポーツ健康教育課】
 ○実践的防災教育の充実と教職員の指導力の向上及び意識の高揚を図ることにより、実践的な防災教育をより推進していく必要がある。
 ○実践的防災教育の充実に向け、専門家派遣及び手引きの活用促進を進める必要がある。
 ○子どもたちの安全確保を行うため、引き続き通学路の安全対策、不審者等への対策の推進を図る必要がある。
 ○通学中の事故による負傷者が毎年35～50人あり、中でも高校生の自転車による負傷者数が20～30人と最も多い、加害者となる事故も起きている。

況把握に努めると共に、未実施の市町村教育委員会担当者を含めた研修会を行う。

【家庭・地域教育課】
 ○各校の学校支援ボランティアが活性化するように、学校支援ボランティア研修会(実践発表および情報交換等)を実施する。
 ○関係課所(小中学校課、特別支援教育課、教育センター、高等学校課、家庭・地域教育課、人権教育課)がそれぞれの役割を確認し、横断的に取り組む。
 ○ケータイ・インターネット研修会への講師派遣は、通信事業者、国、鳥取県警察本部、鳥取県教育委員会、NPOが連携・協力して推進する。
 【スポーツ健康教育課】
 ○実践的防災教育モデル地域での取組の成果を普及する。
 ○各学校で年間指導計画を作成するなど、防災教育の計画的な指導体制づくりを行う。
 ○緊急地震速報等を活用したより実践的な防災訓練の具体的実施方法を検討し普及する。
 ○教職員の危機意識と指導力の向上を図るため、研修会を開催する。
 ○高校生の自転車事故防止に向け、関係課・関係機関との効果的な指導等の検討を行い、検討に基づく対策を実施する。
 ○通学路の安全対策を引き続き関係課と連携して取り組む。
 ○スクールガードリーダーの巡回指導・助言や学校安全ボランティア等による子どもの見守り活動を実施する市町村に対して助成する。

3 ③安全・安心な学校給食

取組の方向
<p>○安全・安心な学校給食 ・学校給食における衛生管理の徹底と生産者や流通関係者等と連携して地産地消を推進することにより、安全で安心できる学校給食の提供に努めます。 ・関係機関と連携し、学校給食における異物混入などの事故防止に努めます。</p> <p>○食育の推進【再掲2-(3)】 ・学校給食における地産地消を推進し、子どもたちに安全・安心な食材の提供をとおして地域の食文化を伝え、感謝の心を育てます。</p>

事業・取組名
学校給食用食材県産品利用(地産地消)推進事業 学校給食指導事業 学校における食育推進事業 学校給食モニタリング事業

最終評価

担当課 自己評価	B	評価理由	<p>【スポーツ健康教育課】 ○衛生管理に関する指導、調理場への訪問や講習会の開催や栄養教諭・学校栄養職員等への研修により、学校給食の安全確保を図ることができた。 ○2学期の学校給食における県内産食材の使用率が71%に向上している。(平成24年度同期69%)</p>
	ほぼ計画(予定)どおり推進している。		

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度		平成25年度の取組と成果	
取組	取組内容	取組	成果
平成25年度の取組(年度末現在)			
【スポーツ健康教育課】 ○学校給食における衛生管理の徹底と食中毒、異物混入防止及び食物アレルギー対応の充実を図るため、学校給食関係者を対象に講習会を開催した。 ○学校給食の衛生管理について、栄養教諭等の研修を実施するとともに調理場への訪問指導を行った。 ○県内の学校給食関係者を対象に県産品利用推進会議を開催し、安全で安心できる学校給食の提供について情報交換を行った。			<p>【スポーツ健康教育課】 ○学校給食関係者を対象とした衛生管理講習会を開催し、調理場における食中毒防止、異物混入防止及び食物アレルギー対応の充実を図ることができた。(参加者:252人) ○学校給食の衛生管理について、栄養教諭等の研修の実施や調理場への訪問指導を行うことにより衛生管理の徹底を図るとともに、現場の課題に対する改善を行うことができた。 ○県内の学校給食関係者を対象に県産品利用推進会議を開催し、安全安心できる学校給食の提供について情報交換を行うことにより、県産品の利用促進を図ることができた。</p>
課題及び今後の対応			
	課題		平成26年度の対応
	<p>【スポーツ健康教育課】 ○いつ発生するかわからない食中毒や異物混入の防止のため、学校給食における衛生管理の徹底を継続的に図っていく必要がある。 ○安全安心な学校給食を提供するため、引き続き地産地消を推進する必要がある。</p>		<p>【スポーツ健康教育課】 ○学校給食関係者を対象とした衛生管理に関する講習会や研修の実施及び調理場への訪問指導を継続する。 ○学校給食関係者を対象とした地産地消推進会議の開催を継続する。</p>

4 ④学校図書館の整備の推進と教材整備の推進

取組の方向
<p>○学校図書館及び教材整備の充実 ・ICT環境など時代のニーズに対応した質の高い教育を受けることができる教育環境を整備するため、関係機関と連携した教育の推進や学校図書館、教材整備の充実を促進します。</p>

事業・取組名

読書指導の充実事業費
 学校図書館司書教諭の養成
 市町村・学校図書館等協力支援事業

最終評価

担当課 自己評価	B ほぼ計画(予定)どおり推進している。	評価理由	【教育環境課】 ○県立高等学校における図書管理システムの更新に向けた準備作業は、予定どおり進捗している。 【小中学校課】 ○司書教諭講習受講者確保や研修によるスキルアップ等の人的環境整備は継続して進んでいるものの、蔵書数の増加等の物的環境整備に関しては学校設置者である市町村等の協力が一層求められるため。 【図書館】 ○図書の物流システムと訪問相談により、学校図書館へ人的・物的支援を行った。
-------------	-------------------------	------	---

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(今年度末現在)	成果
【教育環境課】 ○平成26年度の図書管理システムの更新に当たり、より使いやすいものとするため関係職員の見解を聞きながら仕様等の検討を行い、システムの更新に伴う機器の更新やソフトウェアの改修に要する経費について予算措置を行った。 【小中学校課】 ○鳥取大学での司書教諭講習受講の全県小中学校への働きかけと受講者の旅費支給を行い、昨年度以上に受講者を確保できた。 ○全県悉皆の司書教諭研修を県教育センターと連携して実施しスキルアップを図ることが出来た。 【図書館】 ○2日以内に全県の市町村立図書館、高等学校図書館、特別支援学校図書館等に図書が届く物流システムを整備している。 ○学校図書館(県立学校、私立学校、特別支援学校)への訪問相談を実施した(高校31校、特別支援学校10校)。	【教育環境課】 ○システムの導入により、利用者の利便性向上や教職員の負担軽減、学校図書館業務の効率化につながっているが、システムの更新により操作性や利便性が更に向上し、セキュリティ対策も強化される。 【小中学校課】 ○18人の司書教諭講習受講者を確保した。 ○研修による司書教諭のスキルアップを実施した。 【図書館】 ○図書の物流システムにより、県立図書館の専門的な図書を素早く届け、活用してもらえた。 ○訪問相談の実施校を大幅に増やし、図書館職員の資質向上に寄与した。
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
【教育環境課】 ○システムの更新、円滑な運用に向けた学校及び業務委託先との調整が必要である。 【小中学校課】 ○人的環境整備は継続して推進されているものの、蔵書等の物的環境整備については課題。 【図書館】 ○まだ十分なレベルに達したとは言いがたいため、さらなる図書館職員の資質向上を図っていく必要がある。	【教育環境課】 ○システム更新を円滑に行うため、学校及び業務委託先と連携しながら対応する。 【小中学校課】 ○司書教諭有資格者増加や物的環境整備に関する市町村への協力要請の継続。 【図書館】 ○訪問相談を継続実施する。

5

⑤修学資金の支援

取組の方向 ○修学資金の支援 ・奨学金を必要としている生徒に、奨学金の貸与ができるよう貸与枠やその財源の確保を図ります。
--

事業・取組名

奨学金の貸与

最終評価

担当課 自己評価	B ほぼ計画(予定)どおり推進している。	評価理由	【人権教育課】 ○奨学金を必要としている者への貸与を実施した。
-------------	-------------------------	------	------------------------------------

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(今年度末現在)	成果
【人権教育課】 ○経済的理由で修学が困難な生徒が希望する学校に進学できるよう、奨学金の貸与を行っている。	【人権教育課】 ○高校分については申請者全員に、大学分については応募者が多く選考となったが定員どおりの240名に奨学金を貸与することができた。
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
【人権教育課】 ○奨学金制度を維持するためにも、返還金の回収が重要である	【人権教育課】 ○今後も厳しい経済・雇用情勢が予想されるため、経済的理由で修

め、引き続き債権回収に努める必要がある。

学が困難な生徒が希望する学校に進学できるよう、奨学金制度の維持・拡充を図る。

6

⑥校庭の芝生化

取組の方向
○校庭の芝生化 ・学校の校庭の芝生化を推進します。
事業・取組名
県立学校校庭芝生化推進事業 鳥取方式の芝生化促進事業

最終評価

担当課 自己評価	A	評価理由	<p>【教育環境課】 ○県立学校における校庭等の芝生化に向けた取組みは、着実に広がっている。</p> <p>【鳥取力創造課】 ○鳥取方式の芝生化促進事業において、新しく2校(会見小学校、日進小学校)の芝生化を実施した。</p>
-------------	----------	------	---

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(今年度末現在)	成果
<p>【教育環境課】 ○平成25年度は、境高等学校グラウンドと琴の浦高等特別支援学校グラウンドの芝生化を計画し、境高等学校は平成25年7月に実施した。琴の浦高等特別支援学校は平成26年5月の実施を予定している。</p> <p>【鳥取力創造課】 ○これまでの29校に加え、新しく2校の芝生化を進めた。</p>	<p>【教育環境課】 ○県立学校33校(鳥取県立学校ひまわり分校を含む。)のうち、13校で芝生化が実施されており、児童生徒のスポーツ競技力の向上やケガの防止、飛砂の発生防止等につながっている。</p> <p>【鳥取力創造課】 ○全140校の小学校のうち、31校が芝生化を実施し、22%の実施率となった。</p>
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
<p>【教育環境課】 ○芝生化の推進に当たり費用対効果の観点から芝生化のメリットや課題を整理していくことが求められる。</p> <p>【鳥取力創造課】 ○小学校内をはじめ、父兄やPTAによる地域への理解を進める活動が必要。</p>	<p>【教育環境課】 ○各学校に芝生化のメリットをPRするとともに、学校が抱える問題点や不安の解消に努める。</p> <p>○芝生化のメリットとされるスポーツ競技力の向上やケガの防止、飛砂の発生防止等の具体事例を整理し、取組の成果をまとめることが必要である。</p> <p>【鳥取力創造課】 ○現地説明会など、幅広い事業で理解と周知を図る。</p>

アクションプラン 評価

所属名	教育委員会(事務局) 教育総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 総括 <input type="checkbox"/> 地方機関
-----	------------------	---

(1)項目	3:学校教育を支える教育環境の充実 (5)私立学校への支援の充実 【目指すところ】 ①私立学校の振興 ②学校経営の健全性の向上・入学者確保 ③私立学校の耐震化
-------	--

①私立学校の振興

取組の方向	○私立学校の振興 ・特色ある教育活動の推進を図るための支援を行います。 ・優秀な教職員の人材確保・育成のため、研修などの支援を行います。 ・多様な生徒に対するきめ細かい教育を提供するための支援を行います。 ・専修学校における実践的な職業教育の促進を図るための支援を行います。 ・情報公開の一層の促進、学校の自己評価及び学校関係者による評価結果の公表の促進を図るための支援を行います。
-------	--

事業・取組名	私立幼稚園運営費補助金 特別支援教育推進事業 子育て支援活動・預かり保育推進事業 人権教育推進事業 ティーム保育推進事業 私立幼稚園における学校関係者評価の推進 私立学校教育振興補助金 私立高等学校等就学支援金 私立学校生徒授業料等減免補助金 私立高等学校等特別支援教育サポート事業 地域総合整備資金貸付事業 私学共済事業等助成事業 学校法人等連絡調整費
--------	---

最終評価

担当課 自己評価	B	評価理由	【教育・学術振興課】 ○私立学校へ助成を行うことにより、保護者の負担軽減、学校の教育環境の維持向上を推進した。 【子育て応援課】 ○私立幼稚園において、運営及び幼児教育の充実に係る費用の助成を行った。
-------------	----------	------	---

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(年度末現在)	成果
【教育・学術振興課】 ○授業料の軽減を実施している学校に対して助成するとともに、学校の教育環境の維持向上に必要な経費に対して補助を実施した。 【子育て応援課】 ○特別支援が必要な園児に加配を行った。 ○私立幼稚園の運営費、平日・休日等預かり保育に係る経費の助成を行った。	【教育・学術振興課】 ○保護者の負担軽減を図るとともに、教育環境の維持向上に係る支援を行った。 【子育て応援課】 ○特別支援が必要な園児に専任の教職員をつけることで、手厚い支援が可能になった。 ○保護者からのニーズが高い預かり保育の実施を促進した。
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
【教育・学術振興課】 ○現在、国では平成26年4月から高校授業料無償化制度への所得制限の導入などの見直しを進めており、円滑に導入する必要がある。また、各校の事務手続き及び経費等の負担が課題となるのではと懸念。 【子育て応援課】 ○引き続き私立幼稚園に対する補助を行っていく。	【教育・学術振興課】 ○学校、生徒及び保護者に対し、高校授業料無償化制度見直し内容を周知しながら、学校における事務に遺漏がないよう取り組む。 【子育て応援課】 ○今後も補助を継続する。

②学校経営の健全性の向上・入学者確保

取組の方向	○学校経営の健全性の向上・入学者確保 ・私立学校の教育条件の維持向上や学校経営の健全性の向上、保護者等の学資負担の軽減を図るため私立学校助成を充実します。
事業・取組名	

私立幼稚園保育料軽減事業
私立幼稚園運営費補助金
私立学校教育振興補助金

最終評価

担当課 自己評価	B	評価理由	【教育・学術振興課】 ○すべての私立中・高等学校において情報公開を実施している。自己評価についてもすべての学校で何らかのかたちで実施している。 【子育て応援課】 ○多子世帯の保護者の保育料に係る経済的負担を軽減する補助事業をおこなった。
-------------	----------	------	---

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(年度末現在)	成果
【教育・学術振興課】 ○学校訪問等を通して、情報公開、学校評価制度の一層の定着、充実を図った。 【子育て応援課】 ○同時在園補助金に関して制度拡充を図り、本補助金の対象を広げた。私立幼稚園の運営に対して助成をおこなった。	【教育・学術振興課】 ○すべての中・高等学校において情報公開を実施した。自己評価についてはすべての学校で何らかのかたちで実施した。 【子育て応援課】 ○同時在園及び第3子以降の世帯の保育料負担を軽減した。 ○同時在園補助金の対象が広がったことで、より多くの多子世帯の保護者の保育料に係る経済的負担を軽減できるようになった。
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
【教育・学術振興課】 ○学校評価制度の一層の定着、充実を図る。 【子育て応援課】 ○保育料の負担をより軽減できる制度を模索していかなければならない。	【教育・学術振興課】 ○学校訪問等を活用した取組を図っていく。 【子育て応援課】 ○今後も補助を継続しながら、より多子世帯の保護者の負担感が軽減できるような制度を模索していく。

3
③私立学校の耐震化

取組の方向	○私立学校の耐震化 ・私立学校施設の耐震化の促進を図るため、耐震化に係る国の助成制度と協調した支援を行います。
事業・取組名	私立高等学校等改築事業 私立学校施設整備費補助金

最終評価

担当課 自己評価	B	評価理由	【教育・学術振興課】 ○老朽化した校舎の耐震改修(1校)に対して助成した。 ○これまで国に要望してきた耐震改築への補助が、平成26年度概算要求に盛り込まれたことに加え、単県の補助も補助率をアップし、私立学校への支援を強化した。 【子育て応援課】 ○本年度、耐震化を行った園はないが、要綱改正を行い補助率を上げたことで各園の耐震化を促した。
-------------	----------	------	---

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(年度末現在)	成果
【教育・学術振興課】 ○国に制度拡充を要望するとともに、事業要望のあった学校について予算措置を行った。 ○耐震化を一層推進するため、単県の補助事業の補助率をアップした。 【子育て応援課】 ○耐震改修の補助制度を周知し、耐震改修の必要な園に改修を勧めた。 ○要綱の改正を行い補助率を上げたことで、各園の負担軽減を図った。	【教育・学術振興課】 ○今年度1校が老朽化した校舎の耐震改修を実施した。国において、来年度概算要求で、耐震改築への助成を計上したことに併せて、県の耐震化に関する補助金の補助率をアップし、私立学校が耐震化に取り組みやすい環境を整備した。 【子育て応援課】 ○要綱改正を行ったことで、耐震化を前向きに検討する園が現れた。
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
【教育・学術振興課】 ○一部耐震化が進んでいない学校があり、今後も、国、県の補助事業を活用した耐震化の推進が必要。 【子育て応援課】 ○すべての園で耐震化が完了するよう努める。	【教育・学術振興課】 ○各学校毎に耐震化に関する相談に応じ、支援を進める。 【子育て応援課】 ○要綱改正により補助率が上がったことを周知し、早期の耐震化を促す。

アクションプラン評価

所属名	教育委員会(事務局) 教育総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 総括 <input type="checkbox"/> 地方機関
-----	------------------	---

(1)項目	4:文化・芸術の振興と文化財の保存・活用 (1)文化・芸術活動の一層の振興 【目指すところ】 ①文化・芸術振興による地域の「創造性」の向上
-------	--

①文化・芸術振興による地域の「創造性」の向上

取組の方向	<p>○アーティストや文化団体への支援、支援団体等との連携</p> <p>・アーティストや鳥取文化団体連合会等の文化団体を支援するとともに、文化・芸術活動を支援する方々と連携して、文化・芸術活動を活性化します。</p> <p>○アーティストリゾートの展開促進等</p> <p>・IJUターンをされたアーティストや地域に根付いて高いレベルの文化・芸術活動を行うアーティストと県民が芸術を介して活発に交流する「アーティストリゾート」の展開を促進するとともに、心豊かな県民生活、ネットワークづくり、地域の魅力向上などの付加価値の創造に貢献します。</p> <p>○文化・芸術が生活の一部となる生活スタイルの浸透促進</p> <p>・アートスタート事業等により、子どもの頃から文化・芸術に触れる機会を拡充し、文化・芸術が生活の一部となる生活スタイルの浸透を促進します。</p> <p>○文化・芸術に触れ、感性を磨く機会の確保【再掲2-(2)】</p> <p>・学校等との連携により、教育現場や地域で、子どもたちや若者が文化・芸術に触れ、感性を磨く機会を確保し、文化・芸術活動を活性化します。</p> <p>○文化・芸術を発表する場や鑑賞する機会の拡充等</p> <p>・鳥取県美術展覧会や鳥取県総合芸術文化祭、財団法人鳥取県文化振興財団事業のほか、廃校等を使った文化・芸術の発表等による鑑賞人口の拡大など、県民が文化・芸術を発表する場や鑑賞する機会を拡充します。財政事情が許せば県民合意を得た上で美術館を建設します。</p>
-------	--

事業・取組名	高校生まんが王国鳥取応援団事業 文化芸術活動支援事業 近畿高等学校総合文化祭鳥取大会準備事業 伝統芸能等支援事業 鳥取県文化芸術活動支援補助金 鳥取県文化団体連合会活動支援事業 新生とりアート事業 鳥取県美術展覧会開催事業 とっとり伝統芸能まつり開催事業 アーティスト滞在促進事業 アーティストリゾート推進組織育成事業 アーティストリゾート・地域モデル創成事業 アーティストリゾート創造事業(劇団付き劇場による地域創造事業) アーティストリゾート創造事業(ホスピタイル・プロジェクト) 芸術鑑賞教室開催補助金 鳥取県ジュニア美術展覧会開催事業 「とっとりアートスタート」推進事業 アートスタート「次世代鑑賞者育成事業」
--------	--

最終評価	担当課 自己評価 <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> 目的・目標を達成した。	評価理由 <p>【高等学校課】</p> <p>○近畿高等学校総合文化祭(H27鳥取開催)の準備委員会を予定どおり立ち上げ、日程と会場を調整中。</p> <p>○高校生まんが王国とっとり応援団に12校約100名の団員が参加した。</p> <p>【文化財課】</p> <p>○文化財主事が各地の出前講座で講演することにより、県民が文化財に興味を持ち、理解を深め大切にしていこうと気運を醸成した。</p> <p>【文化政策課】</p> <p>○全国発信を行うためのアートスタート事業について、プライベート・メインイベントとともに、県内外から多くの未就学児が参加し、楽しむ気運が醸成されつつある。また、アーティストリゾートを目指したアーティスト・イン・レジデンスへの取り組みについても、「暮らしとアートとコノサキ計画」内で実施。当該事業は2年目を終えたところであり、イベント参加者数も増加しつつある。さらに、第4回とっとり伝統芸能まつりには、地元高校生が多数参加し、文化活動実演の場も拡充しつつある。</p>
------	--	---

平成25年度の取組状況と成果等	
平成25年度の取組(年度末現在)	平成25年度の取組と成果
	成果 <p>【高等学校課】</p> <p>○近畿高等学校総合文化祭の準備委員会を立ち上げ、各部門別の部会を設けるなど、専門委員会大会開催に向けて準備体制が整った。</p>

<p>【高等学校課】 ○近畿高等学校総合文化祭(H27鳥取開催)の準備委員会を立ち上げ、日程と会場を調整中。 ○高校生まんが王国とっとり応援団事業(結団式・著名人との交流会・デジタルハリウッド米子校との連携など) 【文化財課】 ○子どもたちの「歴史と伝統を尊重する」心を育て、知的好奇心をくすぐるような取組や情報発信を行うとともに、教育委員会事務局関係各課と連携した取組を進めた。 ○文化財主事による出前講座など地域や学校現場への情報発信した。 【文化政策課】 ○「とっとりアートスタート」推進事業(①)を実施した。 ○アートスタート「次世代鑑賞者育成事業」(②)を実施した。 ○とっとり伝統芸能まつり(③)を実施した。 ○暮らしとアートとコノサキ計画(④)を実施した。</p>	<p>○高校生まんが王国とっとり応援団は、本年度も約100名の団員を集め、予定の事業を実施した。 【文化財課】 ○これまで調査を行ってきた文化財のうち2件(赤波川溪谷のおう穴群、赤松の荒神祭)を新たに県指定した。 ○小学校や公民館などでの出前講座や青谷上寺地遺跡フォーラムなどにより文化財について情報発信し、文化財への理解が深まった。 ○文化財保護推進のため、各種パンフレットや県内の文化財を分かりやすく解説した「とっとり文化財ナビ」をホームページに掲載するなど情報発信、調査研究を行った。 ○地域の伝統芸能の保存伝承を図るため、現状や課題などの調査を実施した。 【文化政策課】 ○①②アートスタートの取り組みでは、6月に県内幼稚園・保育園でのアートスタート公演を行い、7月には米子市児童文化センターでカナダのアーティスト「ひつじ」の実演を実施。また11月に開催した、初の全国フォーラムには県内外から500名以上の集客があり、多数の未就学児の親子が公演を楽しんだ。 ○③伝統芸能まつりには地元高校生が受付、団体のステージ誘導にとりくんだ。 ○④コノサキ計画は9月から12月にかけて県内で順次アート作品の創作活動と実演・展示が開催された。</p>
---	---

課題及び今後の対応

課題	平成26年度の対応
<p>【高等学校課】 ○近畿高等学校総合文化祭の具体的実施内容の早期決定と開催機運の盛り上げ。 ○近畿高等学校総合文化祭でのまんが部門設置など、まんが王国ととりの盛り上げ継続。 【文化財課】 ○文化財をもって知ってもらい活用していくよう市町村や小中学校などと連携して取り組む必要がある。 【文化政策課】 ○①②11月の全国フォーラムでアートスタート活動の意義を全国にPRし、親子で楽しむ芸術体験の素晴らしさを県内外にうたえることができたが、県内全域への広がりには至っていない。 ○③伝統芸能まつりでは、児童生徒の観客数の増加が課題。 ○④コノサキ計画は、地元受け入れ団体との関わり、地域活性化の有効性についても検証が必要。</p>	<p>【高等学校課】 ○近畿高等学校総合文化祭準備担当を設置し、組織的に開催準備と機運の盛り上げを行う。 【文化財課】 ○小中学生を中心に優れた文化財に触れる機会を増やす。 ○地域の伝統芸能の保存伝承を図るため、現状や課題など調査した結果について、市町村や保存団体などが活用できるよう「鳥取伝統芸能アーカイブス」を作成し、公開する。 【文化政策課】 ○①②アートスタート事業の実施団体を育成するとともに、普及啓発・情報発信を強化する。 ○③伝統芸能まつりでは、広く学校へのPRを行う。 ○④コノサキ事業の活動状況をHP等を通じてタイムリーに周知するとともに、活動の記録化、成果の共有と蓄積に努め、次年度の活動につなげたい。</p>

アクションプラン 評価

所属名	教育委員会(事務局) 教育総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 総括 <input type="checkbox"/> 地方機関
-----	------------------	---

(1)項目	<p>4:文化・芸術の振興と文化財の保存・活用</p> <p>(2)文化財を大切にし、身近に感じ、親しむことができる地域づくり</p> <p>【目指すところ】</p> <p style="text-align: center;">①文化財を大切にし、身近に感じ、親しむことができる地域づくり</p>
-------	---

①文化財を大切にし、身近に感じ、親しむことができる地域づくり

取組の方向	<p>○三徳山の世界遺産登録に向けた学術調査</p> <p>・三徳山の世界遺産登録に向けた学術調査の推進と登録に向けた取組みを支援します。</p> <p>○文化財を身近に感じ、親しむ地域づくりの推進</p> <p>・地域の身近な文化財を訪ねる楽しさを伝えるとともに、祭り行事などの身近な無形民俗文化財を地域で伝承していく活動を支援します。</p> <p>・妻木晩田遺跡や青谷上寺地遺跡をはじめとする本物の文化財に触れ、楽しめる環境を整備し、活用を促進します。</p> <p>○文化財を大切にする機運の醸成【再掲2-(2)】</p> <p>・県民が歴史や文化を誇りに思い、文化財を大切にする機運を醸成します。</p> <p>・文化財主事による学校等への出前講座の開催や弥生講座の充実を図ります。</p> <p>○文化財保護の推進と情報発信</p> <p>・文化財指定、登録、指定後の防災・防犯対策、保存修理などフォローアップ等により文化財保護を推進するとともに、文化財の積極的な情報発信を行うなど活用促進を図ります。</p>
-------	---

事業・取組名	<p>ふるさと鳥取見学(県学)支援事業</p> <p>「とっとり文化遺産」魅力発掘・知的好奇心アップ事業</p> <p>「とっとり弥生の王国」普及活用事業</p> <p>情報発信「鳥取県の文化財」</p> <p>調査研究「鳥取県の文化財」</p> <p>鳥取県文化財防災・防犯対策事業</p> <p>文化財保護指導費</p> <p>文化財助成費</p> <p>伝統芸能等支援事業</p> <p>銃砲刀剣類登録審査事業</p> <p>池田家墓所整備活用促進事業</p> <p>妻木晩田遺跡調査整備事業(保存整備)</p> <p>妻木晩田遺跡調査整備事業(発掘調査)</p> <p>青谷上寺地遺跡発掘調査事業</p> <p>青谷上寺地遺跡出土品調査研究等事業</p> <p>青谷上寺地遺跡史跡指定地公有化・維持管理事業</p> <p>鳥取県の考古学情報発信事業</p> <p>未来に引き継ごう！県民の歴史資産「三徳山」調査活用推進事業</p> <p>妻木晩田遺跡調査整備事業(保存整備)</p> <p>妻木晩田遺跡調査整備事業(発掘調査)</p>
--------	---

最終評価

担当課 自己評価	<h1 style="font-size: 2em;">B</h1> <p>ほぼ計画(予定)どおり推進している。</p>	<p>評価理由</p> <p>【小中学校課】</p> <p>○当初計画に沿って「ふるさと鳥取見学(県学)」事業を実施したが、期待された取組件数にはならなかった。</p> <p>【文化財課】</p> <p>○本年度の県指定保護文化財の新規指定は、9月末時点で2件である。今後も追加指定する予定である。</p> <p>○むきばんだ史跡公園は、体験メニューの見直しを行うとともに、周辺の遺跡などと連携しながら弥生の文化を知り楽しく学んでもらっている。また、青谷上寺地遺跡も予定どおり発掘調査が進んでいる。また、文化財主事が各地の出前講座で講演することにより、県民が文化財に興味を持ち、理解を深め大切にしていける機運を醸成した。</p> <p>○「たたら」や若桜鉄道、法勝寺電車といった「鉄道遺産」など各地にある文化遺産の掘り起こし磨き上げるなど、概ね計画どおりに事業が進んでいる。</p> <p>【埋蔵文化財センター】</p> <p>○青谷上寺地関係では、発掘調査、石器の再整理、土曜講座、フォーラムを計画どおり実施し、大勢の方々に青谷上寺地遺跡の魅力を発信することができた。</p> <p>○考古学情報発信において、「とっとり発掘速報展」(中部、西部、東部の3地区)、「埋蔵文化財センター古代まつり」を計画どおり開催するとともに、考古学情報誌「とっとり考古学紀行」も遅滞なく発行し、多くの方へ県内遺跡の情報発信した。</p> <p>【むきばんだ史跡公園】</p> <p>○妻木晩田遺跡調査整備事業の保存整備は計画通りに進捗している。また、発掘調査では、松尾頭1区及び10区に墳丘墓の存在する可能性が高いこと、仙谷地区では、遺跡内最大規模の墳丘墓を確認するなど概ね予定どおり進捗している。</p> <p>【観光政策課】</p> <p>○三徳山についての調査研究、保安全管理、情報発信の各取組を順調に進</p>
-------------	--	---

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(年度末現在)	成果
<p>【小中学校課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市町村からの希望により、小学校が「県民の日」の関連行事として実施する社会科見学の一部補助を実施した。 <p>【文化財課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちの「歴史と伝統を尊重する」心を育て、知的好奇心をくすぐるような取組や情報発信を行うとともに、教育委員会事務局関係各課と連携した取組を進めた。 ○文化財主事による出前講座など地域や学校現場への情報発信をした。 ○県内の個人所有の文化財の防災防犯対策を支援した。 <p>【埋蔵文化財センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青谷上寺地関係 <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査、石器の再整理、土曜講座、青谷上寺地遺跡フォーラムを計画どおり実施した。 ○考古学情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・「来て・見て・さわって発掘速報展」を県内3箇所のショッピングモールで、「とっとり発掘物語展」を鳥取市歴史博物館で実施した。 ・「埋蔵文化財センター古代まつり」を8月3日に開催した。 ・考古学情報誌「とっとり考古学紀行」を計画どおり発行した。(全3回) ・小学校教育で利用できる小学校用歴史教材も刊行した。 【むきばんだ史跡公園】 ○保存整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・松尾城A工区の遺構保護工事と管理道の整備を行った。 ・屋外放送設備実施設計を行った。 ○発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・松尾頭地区のトレンチ調査を行いこれまでに発見されていない墳丘墓の存在を確認した。 ・仙谷地区西側丘陵は妻木晩田遺跡の衰退期に作られた墳墓の可能性があるので遺跡を評価する重要な遺構。埋葬施設の下部構造を明らかにするための追加調査を行った。 ○来場者数について <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に幼保、小・中学校等教育機関への訪問活動を行った。 <p>【観光政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・正善院建物跡周辺の発掘調査を実施した。 ・三徳山総合調査報告書(第1集)の編集をした。 ・植生調査2回実施した(5/17、6/28)。 ○保全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・行者道修復工事を実施した。 ・守る会主催の一斉清掃を実施した(6/15)。 ○情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・文化資産等学習会開催助成事業補助金の申請受付をした(9件)。 	<p>【小中学校課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3町5小学校427名の児童が本事業により、県の財産である素晴らしい自然環境、公共施設、文化財、建造物、工場などを見学した。 <p>【文化財課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまで調査を行ってきた文化財のうち4件(赤波川溪谷のおう穴群、赤松の荒神祭、常福寺経蔵及び山門、阿弥陀三尊来迎図)を新たに県指定した。 ○小学校や公民館などでの出前講座や青谷上寺地遺跡フォーラムなどにより文化財について情報発信し、文化財への理解が深まった。 ○文化財の防災防犯対策補助金の補助率アップを行い、所有者の負担を軽減し、さらなる防災防犯対策の推進を図った。 ○文化財保護推進のため、各種パンフレットや県内の文化財を分かりやすく解説した「とっとり文化財ナビ」をホームページに掲載するなど情報発信、調査研究を行った。 ○小中学校の校外学習ガイドブック「弥生のふしぎ」を作成・配布し、利用促進を図った。 <p>【埋蔵文化財センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青谷上寺地関係 <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査を計画どおり実施し、調査の常時公開(見学者数延べ108名)や現地説明会の開催(参加者数59名)により、大勢の方々に調査成果を発信することができた。 ・石器の再整理の成果に基づきデータベースを作成・公開し、資料として活用していただけるようになった。 ・土曜講座は計画どおり実施し(全5回)、昨年度より約2割増の延べ174名の方に最新の調査研究成果を発信することができた。 ・青谷上寺地遺跡フォーラムを計画どおり実施し、昨年度より約2割増の166名の参加者に最新の調査研究成果を発信することができた。 ○考古学情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・「来て・見て・さわって発掘速報展」では約1,400人、「とっとり発掘物語展」では約2,600人の来場者を得、多くの方々に情報発信できた。 ・「埋蔵文化財センター古代まつり」は、歴史学習に役立つ10箇所の体験コーナーを開設して519人の来場者を得て、多くの子どもたちに古代体験等をしていただくことができた。 ・「とっとり考古学紀行」を県内観光施設等や県外の鳥取ファンクラブ会員に配布して、県内遺跡に関する情報等を提供した。 <p>【むきばんだ史跡公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保存整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・松尾城A工区の遺構保護ができた。放送設備実施設計が出来上がり、施工に向けた環境が整った。 ○発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・松尾頭1区及び10区に墳丘墓が存在する可能性が高いことが明らかになった。 ・仙谷地区に遺跡内最大規模の墳丘墓を確認した。 ○来場者数について <ul style="list-style-type: none"> ・学校関係への広報が、効果を挙げており、団体予約が増えている。 <p>【観光政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・順調に進捗し11月末で平成25年度の調査を終了。(新たな調査課題が発生したため、平成26年度に継続して実施予定)。 ・5月に刊行した。 ・順調に進み、9月中に終了した。 ○保全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・12月に工事終了。 ・150名以上のボランティア参加があった(過去最高)。 ○情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・9件を交付決定。予算枠満額となり募集終了となった。
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
<p>【小中学校課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業参加校の増加。 <p>【文化財課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化財をもって知ってもらい活用していくよう市町村や小中学校などと連携して取り組む必要がある。 ○二大遺跡である妻木晩田遺跡と青谷上寺地遺跡をさらに活用することが課題である。 ○まだ埋もれている文化財を掘り起こす。 <p>【埋蔵文化財センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発掘調査成果の速やかな情報発信。 ○県内遺跡の効果的な情報発信。 <p>【むきばんだ史跡公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・仙谷地区の墳丘墓は遺跡を評価する重要な遺構であることから、埋葬施設の調査に向け、調査目的と方法を整理し具体的な調査計画を立てる必要がある。 ・山陰道埋文調査に伴う人材不足。 ○来場者数について 	<p>【小中学校課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「県民の日」に関する学習に併せて実施する、校外学習等に要する経費の一部を補助対象に加える。事業実施に併せて、県民の日について県が作成した冊子を活用し、子どもたちの県民の日への理解を深める取組を行う。 <p>【文化財課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中学校などと連携し、校外学習等で妻木晩田遺跡や青谷上寺地遺跡、伝統的な建造物などの優れた文化財に触れる機会を増やす。 ○市町村と連携し埋もれている文化財を掘り起こし、磨き上げる。 <p>【埋蔵文化財センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターネット、SNS等の効果的な活用。 ○考古学情報誌の効果的な配布方法、配布場所等の検討。 ○学校関係者への更なるPRの工夫。 <p>【むきばんだ史跡公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保が困難な中ででの調査体制、調査方法を検討する。 ○来場者数について <ul style="list-style-type: none"> ・年間行事が決定する前に教育機関へ訪問できるよう調整する。

<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関の更なる利用促進。 ・リピーターが楽しめるメニュー、イベント企画の開発が必要である。 ・SNSを活用した一層の広報活動の強化が必要である。 <p>【観光政策課】</p> <p>○三徳山シンポジウムを開催し効果的に情報発信を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園児、保育園児にも利用しやすい環境を整える。 ・タイムリーな広報活動を行うための研修を行う。 <p>【観光政策課】</p> <p>○緑ゆたかな自然課が開催を予定している三徳山フォーラムとの連携を検討する。</p>
---	--

アクションプラン 評価

所属名	教育委員会(事務局) 教育総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 総括 <input type="checkbox"/> 地方機関
-----	------------------	---

(1)項目	5:スポーツの振興 (1)心豊かで活動的な地域スポーツ社会の構築 【目指すところ】 ①少年期のスポーツ活動の適正化 ②生涯スポーツ社会の実現 ③トップアスリートの育成(競技力の向上)
-------	--

①少年期のスポーツ活動の適正化

取組の方向	○学校体育・スポーツ活動の充実【再掲2-(3)】 ・生涯にわたりスポーツに親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに、体力・運動能力の向上と健康の保持増進を図ります。 ・運動の楽しさを体験するとともに運動の必要性や健康的な生活について理解し、主体的に運動に取り組む児童生徒の育成をめざした体育・保健体育学習の実現のための学校の取組みや教員の指導力向上を支援します。 ・「今後の運動部活動のあり方について 提言(鳥取県スポーツ振興審議会 平成12年3月)」の趣旨に則った運動部活動の推進をします。 ・運動部活動指導者の指導力の向上を図るとともに、外部指導者の効果的な活用を推進します。 ○青少年健全育成に基づいたスポーツ活動の普及 ・青少年期のスポーツ活動については、勝敗のみにこだわるのではなく、いろいろなスポーツを体験させたり、スポーツ活動以外にも仲間との交流や奉仕活動をさせるなど、青少年健全育成の理念にもとづいた活動を奨励します。
-------	--

事業・取組名	小学生スポーツ指導者講習会 小学生スポーツ活動の適正化に向けた連携強化 体力・運動能力調査を活用した現場による課題解決型システムの確立 小学校体育専科教員の配置 トップアスリート派遣事業 体力・運動能力調査の実施及び結果集計システム開発 遊びの王様ランキングの実施 学校体育実技講習会の開催 中学校武道外部指導者の派遣 運動部活動推進事業 学校関係体育大会推進費 因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流事業 日韓スポーツ交流事業
--------	---

最終評価

担当課 自己評価	B	評価理由	【スポーツ健康教育課】 ○運動部活動部指導者の派遣については、多少開始が遅れたが、各学校や市町村の要望どおりに実施することができた。 ○子どものスポーツ活動ガイドラインを策定することができた。 ○小学生スポーツにおける各組織との連携については、一層の取組が必要と考えている。
-------------	----------	------	--

有識者の意見	<スポーツ少年団の活動について> ○学校行事と試合が重なったとき、多くのクラブでは学校行事を優先させるようなモラルが浸透してきた。しかし、コーチの認識や保護者の意識で堂々と休む子もいる。モラルがあるクラブが損をしているという声もある。 ○改善のために、例えば4月第3週の土日は、野球もサッカーも試合はなしにするとか、全体での調整も必要ではないだろうか。 <少年期のスポーツ活動の適正化を願う> ○身体ができあがっていない発育期の少年少女の運動は、勝つために無理をしている。身体を医学的な視点から捉えて適正な運動をさせることを望む(卑近な例あり)。できない人は、体育指導者失格である。
--------	---

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(年度末現在)	成果
【スポーツ健康教育課】 ○4月の市町村生涯スポーツ担当者会で小学生スポーツ活動の現状について意見交換し、適正化に向けた取組を各市町村でも行ってもらおうよう要請した。 ○小学生スポーツ活動指導者講習会を予定していた剣道、柔道、サッカー競技すべてで実施した。 ○PM2.5への対応と合わせて、リーフレットを配布し適正な活動について通知した。 ○鳥取県「こどものスポーツ活動ガイドライン」には、小学生スポーツ活動の内容も盛り込んで策定した。 ○トップアスリート派遣事業を開始し、県内の小学校を中心に派遣を実施した。 ○運動部活動外部指導者を派遣した(中学校68名 高等学校88名)。	【スポーツ健康教育課】 ○各市町村の担当者が、小学生スポーツの現状や課題、方向性について共通理解することができた。いくつかの市町村で、小学生スポーツに係る研修会の開催がなされた。 ○競技団体に、小学生スポーツにおいては、選手強化の面もあるが、長期的展望をもって指導することや勝利を目指すことや技術の向上以上に、スポーツを楽しむ心やスポーツを通じた人づくりの重要性を認識してもらったことができた。 ○平成12年策定のスポーツ振興審議会の提言や現在の課題、国のガイドラインを踏まえ、本県の子どものスポーツ活動における指針となる「子どものスポーツ活動ガイドライン」を新たに策定した。
課題及び今後の対応	

課題	平成26年度の対応
<p>【スポーツ健康教育課】</p> <p>○県内のより多くの指導者や保護者に、小学生スポーツの在り方を理解してもらうための取組の充実を図る必要がある。</p> <p>○策定した児童生徒のスポーツ活動ガイドラインのを周知する。</p>	<p>【スポーツ健康教育課】</p> <p>○県体協や市町村と連携した、適正化に向けた取組の充実を図る。</p> <p>○県が主催する指導者講習会や市町村教育行政懇談会、市町村生涯スポーツ担当者会等、機会を捉えて説明し、ガイドラインの周知を図る。</p>

2
②生涯スポーツ社会の実現

取組の方向
<p>○地域における生涯スポーツの充実</p> <p>・県民の誰もが、いつでも、どこでも、誰とでも、生涯を通じてスポーツを気軽に楽しむことができるような総合型地域スポーツクラブの設立及び育成を支援します。</p> <p>・NPO法人やプロスポーツ団体との連携を図り、地域における自信と誇りを高め、スポーツ活動の普及や活性化を推進します。</p> <p>・高齢者や障がい者が取り組みやすいスポーツ・レクリエーション活動の普及等に努めます。</p>

事業・取組名
<p>スポーツ審議会の開催 スポーツ推進委員リーダー研修会の開催 広域スポーツセンター事業 スポーツ・レクリエーション事業 体育施設運営費 体育施設改修費 スポーツによる情報発信・地域おこし支援事業 中部地区社会体育担当者会研修会の開催 レクリエーション活動支援事業</p>

最終評価

担当課 自己評価	B	評価理由
<p>ほぼ計画(予定)どおり推進している。</p>	<p>【スポーツ健康教育課】</p> <p>○総合型地域スポーツクラブの充実へむけて、アシスタントマネジャー養成講習会を6、7、8月に予定通り実施した。</p> <p>○県民スポレク祭夏季大会(3種目)を予定通り開催(今年度から新たにビーチバレーを実施)した。今年度から、鳥取県レクリエーション大会(秋以降数会場で実施)と同時開催することができた。</p> <p>○スポーツ審議会を計6回開催し、スポーツ推進計画を策定することができた。</p> <p>【中部教育局】</p> <p>○年間4回、社会体育担当者会を開催し、各市町の担当者が抱える課題や取組について情報共有し、その内容を、事業改善に生かすことができた。</p> <p>○社会教育担当者と合同でニュースポーツについて研修することができ、市町の事業への広がりが見られた。</p> <p>【青少年・家庭課】</p> <p>○青少年の健全育成、県民一人ひとりが楽しみながら人と出会い、心と体の健康づくりに有効なレクリエーションを全県的な活動を行う鳥取県レクリエーション協会へ助成することで、普及振興の一助となっている。</p>	

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(年度末現在)	成果
<p>【スポーツ健康教育課】</p> <p>○総合型地域スポーツクラブの充実へむけて、アシスタントマネジャー養成講習会を6、7、8月に予定通り実施した。</p> <p>○県民スポレク祭夏季大会(3種目)を予定通り開催。(今年度から新たにビーチバレーを実施)。今年度から、鳥取県レクリエーション大会(秋以降数会場で実施)と同時開催した。</p> <p>○鳥取県スポーツ審議会を3回開催した。</p> <p>【中部教育局】</p> <p>○中部地区社会体育担当者会を開催した。</p> <p>○中部地区社会教育担当者との合同研修会を開催した。</p> <p>【青少年・家庭課】</p> <p>○鳥取県レクリエーション協会が実施する様々な体験ができるレクリエーションのイベントに係る経費の一部を助成する。</p>	<p>【スポーツ健康教育課】</p> <p>○アシスタントマネジャー養成講習会により、県内の資格取得者を増やすことができた。</p> <p>○懸案であった県レク大会との同時開催が実現した。また、夏季種目に新たなビーチバレーを加え、より多くの県民に親しんでもらえる大会となっている。</p> <p>○3月に全計画を全面改定した「鳥取県スポーツ推進計画」を策定することができた。</p> <p>【中部教育局】</p> <p>○各市町の社会体育の年間事業計画やスポーツ関係施設の減免基準、平成25年度事業の成果と課題について研修を行い、情報共有を行うことで事業改善に生かすことができた。</p> <p>○各市町の社会教育担当者と合同でニュースポーツについて研修し、市町の事業にその成果を生かすことができた。</p> <p>【青少年・家庭課】</p> <p>○青少年の健全育成、県民一人ひとりが楽しみながら人と出会い、心と体の健康づくりに有効なレクリエーションを全県的な活動を行う鳥取県レクリエーション協会へ助成することで、県民一人ひとりが楽しみながら人と出会い、心と体の健康づくりに有効なレクリエーションの普及振興の一助となっている。</p>
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
<p>【スポーツ健康教育課】</p> <p>○スポーツ推進計画の方向性に沿った地域スポーツの充実と本県の現状にあった総合型地域スポーツクラブの在り方を検討するとともに、本県生涯スポーツの推進における総合型地域スポーツクラブの位置づけを明確にする必要がある。</p> <p>○競技性の高い種目とレクリエーション色の強い種目のすみ分けを明確にし、県民のスポーツ活動を一層促進する大会としての在り方を再</p>	<p>【スポーツ健康教育課】</p> <p>○生涯スポーツを推進する拠点としての広域スポーツセンターの機能の充実を図り、総合型地域スポーツクラブへの効果的な支援を検討する。</p> <p>○種目の特性に応じた県民スポレク祭となるよう、チャンピオンスポーツの部においては、予選会費を一部助成することにより予選会の充実を図り、競技性の高まりを狙う。</p>

検討する必要がある。
 ○地域スポーツの担い手であるスポーツ推進委員の活動の充実が必要である。
 【中部教育局】
 ○担当者が主体的に研修を行うことができるよう、研修係の動きをより充実させることが必要である。
 【青少年・家庭課】
 ○多くの県民の方にレクリエーションの体験をしていただき参加人数の増加を目指す。

○各市町村教育委員会と連携してスポーツ推進委員の資質向上と意識改革を図り、住民主導のスポーツ推進を進める。
 【中部教育局】
 ○情報共有のためにメーリングリストを活用し、担当者会の企画運営が充実するよう支援していく。
 ○市町の情報交換を促進し、実践につながる取組や新しいスポーツなどの研修を深める。
 【青少年・家庭課】
 ○多くの県民の方にレクリエーションを体験していただき、参加人数の増加を目指す、今後も経費の助成のほか、イベントのPR協力などの対応を行う。

3
 ③トップアスリートの育成(競技力の向上)

取組の方向
 ○競技スポーツの総合的な向上
 ・関係団体の組織拡充を図るとともに選手強化のための体制作りを支援します。
 ・優秀選手の確保とともに、選手の育成・強化のために、ジュニア期から一貫性のある育成強化システムの確立、ジュニアクラブの育成支援及び中・高校における競技水準の向上や部活動の活性化などに取り組みます。
 ・指導力の高い指導者の養成確保に努めます。

事業・取組名
 競技力向上対策事業
 競技力向上のための指導者確保事業
 国民体育大会派遣事業
 財団法人鳥取県体育協会運営費補助金
 倉吉自転車競技場運営費
 都道府県対抗駅伝強化費補助金

最終評価

担当課 自己評価	B ほぼ計画(予定)どおり推進している。	評価理由 【スポーツ健康教育課】 ○7月を中心に競技力向上強化月間と位置づけ、選手強化の現場に知事、副知事、県議会議長、教育長などが出向き激励を行い、選手及び競技団体の士気を高めた。 ○競技力向上対策事業でジュニア期からの一貫指導の成果が実を結び、全国高校総体では、平成以降最多の入賞者を輩出することができた。 ○東京国体でも、高校生や大学生の活躍が目立ち、ジュニア期からの一貫指導の成果が表れてきた。 ○冬季国体では、13年ぶりにアルペン競技で表彰台となる2位に入賞した。
-------------	--------------------------------	--

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(年度末現在)	成果
【スポーツ健康教育課】 ○7月を中心に競技力向上強化月間と位置づけ、選手強化の現場に知事、副知事、県議会議長、教育長などが出向き激励した。 ○3年間の競技力向上対策事業の検証のため、各競技団体へのアンケートを実施し、検証結果を基にして新たな強化事業案を検討した。 ○2020東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、ジュニアアスリートの発掘・育成、トップチームの県内合宿誘致等、新たな事業を検討した。	【スポーツ健康教育課】 ○激励により、監督、選手の士気を高め、インターハイや国体中国ブロック予選に向かうことができた。 ○競技力向上対策事業でジュニア期からの一貫指導の成果が実を結び、全国高校総体では、5種目での優勝を含む28種目という平成以降最多の入賞者を輩出することができた。 ○東京国体では、順位、得点は昨年より下がったが、少年勢においては、相撲、弓道、ボート、飛び込みで優勝を果たすことができた。 ○冬季山形スキー国体で、13年ぶりの表彰台となる2位入賞を果たした。 ○ジュニアアスリートの発掘・育成、トップチームの県内合宿誘致等、新たな事業を予算化することができた。
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
【スポーツ健康教育課】 ○大企業の少ない本県における成年の強化策が特に重要である。企業との連携を図る事業を効果的に進めるとともに、新体制において、各スポーツ団体との協体制の一層の強化が必要である。 ○新たな組織において、オリンピック関連事業の検討委員会を立ち上げるとともに、具体的な内容について検討し、実施する必要がある。	【スポーツ健康教育課】 ○県体協、県内大学等との一層の連携と共通理解を図る。 ○これまでの強化事業の検証に基づくとともに、新たに策定するスポーツ推進計画の方向性に沿った、具体的且つ効果的な強化策の検討する。 ○東京オリンピックをにらんだ、発掘・育成事業に取り組み、優秀なジュニア選手の育成に着手する。 ○ジュニアアスリートの発掘・育成、トップチームの県内合宿誘致について、検討委員会を立ち上げ、具体的な取組をスタートする。

アクションプラン評価

所属名	教育委員会(事務局) 教育総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 総括 <input type="checkbox"/> 地方機関
-----	------------------	---

(1)項目	6:鳥取県教育振興基本計画の推進に向けた体制づくり (1)県民との協働による開かれた教育行政の推進 【目指すところ】 ①県民とともに進める開かれた教育行政 ②教育問題等への迅速かつ的確な対応 ③鳥取県教育振興基本計画の確実な推進
-------	---

①県民とともに進める開かれた教育行政

取組の方向	○県民とともに進める開かれた教育行政 ・県民の教育に関する理解と関心を高める取組みを推進します。 ・県民からの声を教育行政に活かすため、より一層の情報提供と広報公聴活動を行います。 ・教育委員会事務の点検・評価制度の適正な実施と教育施策への確実な反映を行います。
-------	--

事業・取組名	知りたい！聞きたい！開かれた教育づくり事業 教育委員会費 教育委員会運営費 教育企画費
--------	--

最終評価

担当課 自己評価	B	評価理由	【教育総務課】 ○教育委員の学校訪問等により、学校現場の課題・ニーズの把握に努めるとともに、教育委員会会議の議事録や教員委員リレーコラムをホームページで公開するなど積極的な情報公開にも努めた。
-------------	---	------	---

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(年度末現在)	成果
【教育総務課】 ○学校現場のニーズや課題意識を把握するため、教育委員による学校訪問により、教職員及び児童生徒と意見交換を実施した(青谷高校:8月27日)。 ○今年度に入ってから教職員による不祥事が相次いで発生したことを受け、教育委員会主導による不祥事防止対策を進めるため、学校訪問を実施した(智頭農林高校:8月20日)。 ○インターハイや国体など、スポーツ分野で高校生等が活動する場の視察も実施した。 ○教育委員会の情報公開については、ホームページを通じた教育委員会議事録の迅速な公開(毎月)、教育委員リレーコラムを実施した(全委員が年1~2回実施予定)。 ○いじめ問題への対策等を検討するため、公安委員との意見交換(9月6日)の実施や、学校における安全確保の取組について、スクールサポーター(12月20日)との意見交換を実施した。 ○教育委員による学校訪問の機会を充実させるため、エキスパート教員の授業視察や県立学校の入学式及び卒業式にも積極的に参加した。	【教育総務課】 ○教育委員の学校訪問等により、学校現場の課題・ニーズの把握に努めるとともに、教育委員会会議の議事録や教員委員リレーコラムをホームページで公開するなど積極的な情報公開にも努めた。
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
【教育総務課】 ○教育委員の活動について、より一層の充実を図る。	【教育総務課】 ○教育委員の活動の充実を図るため、引き続き学校訪問等を行い、現場の課題・ニーズの把握に努める。

②教育問題等への迅速かつ的確な対応

取組の方向	○教育問題等への対応 ・多種・多様な教育問題等に対して、迅速かつ適切に対応することができる組織づくりや必要に応じて専門機関と連携を図る体制について検討します。
事業・取組名	教育委員会費 教育審議会費

最終評価

担当課 自己評価	B	評価理由	【教育総務課】 ○教育協働会議等による外部有識者からの意見聴取を聞くとともに、いじめ・不登校総合対策本部、教職員の多忙感解消にむけた検討チームなど、事務局内横断的な検討組織を設置しながら、対応している。
ほぼ計画(予定)どおり推進している。			

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(年度末現在)	成果
【教育総務課】 ○必要な施策について市町村の意見を聞く機会を新たに設定(8/5)し、広域市町村による取組の紹介や、エキスパート教員の活用等について、前向きな提案をいただいた。 ○3回の教育協働会議では、有識者委員から、課題とその解決に向けた提案をいただいた。(5/22、9/6、1/27) ○いじめ・不登校総合対策本部、教職員の多忙感解消にむけた検討チームなど、課題に合わせた検討組織を設置し、検討を進めた。	【教育総務課】 ○教育協働会議の有識者委員や市町村教育委員会との意見交換でいただいた意見も参考にしながら、新規取組を含む新年度予算編成ができた。 ○事務局内横断的な検討組織を設置し、現場の状況把握や課題の洗い出しができた。 ○平成26年度教育振興協約を知事と教育委員長との間で締結し、連携した教育振興を進めることをした。
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
【教育総務課】 ○教育協働会議の運営について、目的の明確化、議論の方向性の焦点化が必要。 ○いじめ・不登校対策、多忙感解消に向けた具体的な対策の構築。	【教育総務課】 ○知事部局、市町村教育委員会と連携し、現場の意見を吸い上げながら、的確に課題を捉え、必要な対応を取っていく。 ○教育協働会議について、教育委員会制度改革の動向も見据えながら、議論を深めるための会議としていく。

3

③鳥取県教育振興基本計画の確実な推進

取組の方向	○鳥取県教育振興基本計画の確実な推進 ・鳥取県教育振興基本計画を確実に推進します。
事業・取組名	教育審議会費 教育企画費

最終評価

担当課 自己評価	B	評価理由	【教育総務課】 ○教育振興基本計画の最終年度を迎え、数値目標で一部達成されていないものがあるものの、成果の出ているものも多い。
ほぼ計画(予定)どおり推進している。			
有識者の意見	<p>○教育は人づくり、国づくりであります。将来を担う子どもたちが学校でどんなことを学んでいるかを、もっと社会の大人が知り、学校で行われている教育の理念や理想と学校現場の実態を把握し、社会全体で教育に対する理解と支援を得る取り組みが、今こそ必要だと感じます。</p> <p>教育の理念や施策を社会に発信することで、県民一丸となり理想の社会づくりをめざし、学校教育を終えた子どもたちがスムーズに社会に適応できるようにしていくことも大切なことだと思います。</p> <p>○教育行政や学校現場だけが教育について発信するのではなく、視点を変えて、それ以外から発信するチャンスではないかと思えます。</p> <p>○相対的に、各々の教育現場で5W1Hを活用しながら教育行政に取り組んでいる姿勢が読み取れ、「生きている教育」を感じ取ることができました。</p> <p>○それなりに実施しておられる個々の事項についての評価は、概ねこの様だと思う。しかし全体を見ての意見は、施策の方向性「目指すところ」結果一覧に関して、特に1、2項について、「目指すところ」の先にあるもの、即ち教育とは、その根幹についての話をほとんど聞いたことがない。教育基本法の第一条と第三条をよく咀嚼して考えてほしい。よく言われる人間の業、その業を善き方向へ向かわせ、人としてあるべき姿へ近づける、自己の人格を磨くのが生涯学習である。教育は心を育てての人づくり。人権、同和問題やいじめ問題等々に取り組もう。今の様では、いつまでもこれらの問題が続くでしょう。</p> <p>○「B」評価が多く、熱心に進められている様子がうかがえました。</p>		

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(年度末現在)	成果
【教育総務課】 ○計画の実現に向けて、それぞれの取り組みを進めた。 ○前年度の点検評価、アクションプランの中間評価を行い、課題への対応を進めた。 ○教育委員会、教育審議会等で、議論をしながら、計画の改訂を行った。	【教育総務課】 ○各施策の評価のとおり。 ○教育振興基本計画を改定した。
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
【教育総務課】 ○数値目標の達成状況が不十分である。	【教育総務課】 ○改訂計画の周知を行うとともに、PDCAサイクルを回しながら、各施策の推進を図る。

アクションプラン評価

所属名	教育委員会(事務局) 教育総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 総括 <input type="checkbox"/> 地方機関
-----	------------------	---

(1)項目	6: 鳥取県教育振興基本計画の推進に向けた体制づくり (2)市町村、国、高等教育機関などの関係機関との連携・協力の推進 【目指すところ】 ①市町村との連携・協力体制の充実 ②高等教育機関との連携・協力の一層の推進
-------	--

①市町村との連携・協力体制の充実

取組の方向	○市町村との連携・協力体制の充実 ・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に新たに規定された、市町村教育委員会の共同設置、指導主事配置の努力義務化、市町村教育委員の研修などについて、市町村教育委員会の意見を聞きながら取組みを充実していきます。
事業・取組名	
教育企画費	西部地区市町村学事担当者研修会

最終評価

担当課 自己評価	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div>	評価理由	【教育総務課】 ○市町村との連携・協力の充実については、必要に応じて会議等の場をもつて、情報交換、意見交換を行っている。時間不足で十分な議論ができないこともあるため、必要な議論については十分な時間が確保できるように工夫をしていくことが必要である。 【西部教育局】 ○西部地区市町村学事担当者研修会を9月30日に実施した。研修テキストとして「具申内申マニュアル(詳細版)」及び「年間の人事に係る主な事務手続きマニュアル」を完成し、活用している。全ての市町村からの参加者があり、充実した研修会が実施できた。法規演習等の実施については、「育休法、地公法の育休」について実施したが、今後、幅広く実施する必要がある。来年度の課題となる。
	ほぼ計画(予定)どおり推進している。		

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(年度末現在)	成果
【教育総務課】 ○4月、10月に市町村教育行政連絡協議会を開催し、情報共有、意見交換を行った。 ○教育委員の資質向上のため、7月に市町村教育委員会新任委員研修、8月に全体研修を開催した。分科会では、タイムリーなテーマを掲げ、意見交換を行った。また、教育長グループとして1つの分科会を設定し、平成26年度に必要な取組について議論を行った。 ○市町村教育長の集まりの機会をとらえ、随時、その会議に教育委員長が出席し、県の教育施策の方針、考え等を示しながら、協力、連携して施策をすすめていただくよう呼びかけてきた。 【西部教育局】 ○西部地区市町村学事担当者研修会のテキストとして、「具申内申マニュアル(詳細版)」 「年間の人事に係る主な事務手続きマニュアル」の作成を進め、活用できている。	【教育総務課】 ○各市町村教育委員会からの要望、意見等を把握することができた。 ○市町村教育委員会委員研修については、講演会・分科会とも大変参考になった旨のアンケート回答が多かった。 ○町村教育長会は、会議の運営を見直し、テーマを絞った有意義な会となった。 【西部教育局】 ○西部地区市町村の学事担当者の異動も今後、激しくなることが予想される。そのためにも、業務をまとめたマニュアルの充実が必要である。今後の効率的な業務改善につながる取り組みの基礎ができた。
課題及び今後の対応	
課題	平成26年度の対応
【教育総務課】 ○必要に応じて協議の場を設けているが、時間不足で十分な議論が出来ないことがあるため、必要な議論については十分な時間が確保できるように工夫をしていくことが必要である。 ○引き続き、関係機関と情報を共有しながら、現場の意見の吸い上げや課題の洗い出しなど、鳥取県教育の充実に向けて、必要な連携体制をとっていくことが必要である。 【西部教育局】 ○学事担当事務のさらなる効率性、正確性の向上をめざして、マニュアルによる研修と併行しながら進める法規演習等が、市町村教育委員会の自立を支援することにつながると思われる。	【教育総務課】 ○会議資料を事前に送付して各市町村教育長に事前に目をとっていただくなど、協議会当日の時間を有効に使えるようにしたい。 【西部教育局】 ○学事担当業務に関する研修を年度末や年度前半に企画して学事担当事務の確認をタイムリーに行い、年度中頃には法規演習研修で力量のアップをねらうなど、年間を見通した適切なスケジュールを計画し実行していく必要がある。

②高等教育機関との連携・協力の一層の推進

取組の方向	○高等教育機関との連携・協力の一層の推進
-------	----------------------

- ・県内生徒の高等教育機関への進学機会を確保するため、地域が求める「人財」を養成するカリキュラムの充実など、県内高等教育機関の一層の充実に協力します。
- ・高等教育機関等と県内企業との共同研究を拡大すること等により、高等教育機関等が研究活動で大きな成果を上げることを期待します。
- ・高等教育機関・専門学校と地域産業界が協働・連携し、鳥取のものづくりを支える将来の専門的職業人及び地域産業界のニーズに応じた職業人の育成を支援します。また、液晶や情報通信システムに対応できる高度な知識・技術を持つ人材の創出を支援します。
- ・県内の高等教育機関、学校、教育委員会等が、より一層の連携を図り、相互の特色ある機能を活用し、それぞれの教育力の向上を図り、教育上の諸課題への対応策を検討・実践することで、鳥取県教育の自立を推進します。
- ・高等教育機関の公開講座等との連携を図り、住民が学習する機会拡大に努めます。【再掲1-(3)】

<p>事業・取組名</p> <p>教育企画費 外部人材活用事業 地域を担う人材育成事業 高等教育機関の公開講座等との連携による住民の学習機会の拡大 未来につながるものづくり支援事業 公立大学法人鳥取環境大学運営費交付金 高等教育機関等支援事業</p>

最終評価

<p>担当課 自己評価</p> <p style="text-align: center;">B</p> <p>ほぼ計画(予定)どおり推進している。</p>	<p>評価理由</p>	<p>【教育総務課】 ○高等教育機関と定期的に意見交換を行い、情報を共有するなど、高等教育機関との連携を推進した。 一方、学生教育ボランティア制度に登録する学校・教育機関の数は、平成23年度37校・機関、平成24年度26校・機関、平成25年度28校・機関と減少傾向にあるので、各学校・教育機関への働きかけを進める必要がある。 【高等学校課】 ○各校で社会人や地元大学教員等による講義を実施し、地域社会と連携した教育を進めている。 ○鳥取県版キャリア教育推進会議を開催し、普通科高校も含めた、キャリア教育推進の有効な取組について検討している。 【図書館】 ○高等教育機関と連携を図り、計画どおり公開講座等を開催でき、利用者にも好評であった。 【教育・学術振興課】 ○鳥取環境大学をはじめ県内高等教育機関の研究・教育内容を充実するための助成を通じ、県と高等教育機関の連携を深めると同時に人材育成を推進した。</p>
---	-------------	---

平成25年度の取組状況と成果等

平成25年度の取組と成果	
平成25年度の取組(年度末現在)	成果
<p>【教育総務課】 ○県内大学・島根大学教育学部と定期的に意見交換等を行い、情報共有を図った。 ○大学の学校支援の取組について県内学校へ情報提供した。 ○学生教育ボランティア制度について、県内大学と島根大学教育学部に常時情報提供し、教職を希望する学生の取組を促進した。 【高等学校課】 ○各校で、先端技術や各教科に関する専門分野の優れた知識・技能を有する一般の社会人や大学教員等による講義を実施。 ○鳥取県版キャリア教育推進会議を開催し、普通科高校も含めた、キャリア教育推進の有効な取組について検討。 【図書館】 ○大学とのタイアップにより講座・セミナー(鳥取大学サイエンスアカデミー、鳥取環境大学公開講座)を実施した。 【教育・学術振興課】 ○未来につながるものづくり支援事業(持続可能な育成システムの検討) ・現場に明るい産学・教育関係者との自由闊達な打合せを4回(5/21、8/20、9/5,17)にわたって行った。 ・次世代のものづくりインフラと目されるFabLab(ファブラボ:個人による自由なものづくりの可能性を広げるための実験工房)の先行事例の視察を行った。 ○未来につながるものづくり支援事業(育成モデル研修) ・7/27~8/2の夏休み期間に、鳥取県と県内の高等教育機関及び企業と連携して、県内の中高生を対象に、ものづくり体験研修を開催した。自分でゼロから考えて、自分たちだけの機械を作り出せる(創造できる)体験研修(中学生:7/27,28、高校生:7/31、8/1)と、高等教育機関や企業の現場を見学(全員:8/2)し、現場の方々のお話</p>	<p>【教育総務課】 ○以下の意見交換会を実施した(5月16日鳥取大学、8月28日島根大学)。 ○島根大学教育学部との意見交換会では、平成28年度島根大学教職大学院の設置に向けて、鳥取県教育委員会と連携して取り組むことを確認した。 ○大学の学校支援の県内学校への情報提供について例年の4月の提供に加え、新年度の学校運営のリズムに合わせ、年度末の3月にも新しい情報を提供した。 ○各大学には県教委学生教育ボランティア情報を大学生に定期的に提供するなど、連携して取り組んだ。 【高等学校課】 ○実社会で活躍している社会人の講義を受けさせることによって、生徒が健全な社会人となるための自覚を高めた。 ○高等学校の中に地域住民が入り込むこととなり、高等学校教職員と地域住民との相互理解が促進された。 ○大学教員から最先端の学問や研究内容、大学での授業内容等について講義を受け、高校生の知的好奇心を高めるきっかけになった。 ○普通科高校においてもキャリア教育の推進を進める機運ができてきた。 【図書館】 ○大学による公開講座等を計画どおり実施でき、利用者にも好評であった。 【教育・学術振興課】 ○未来につながるものづくり支援事業(持続可能な育成システムの検討) ・ものづくり人材育成運動の機運が生まれ次のコンセンサスを得た。 ・ものづくり教育実践の日常的拠点が無い等の課題を解決するため、鳥取大学や鳥取環境大学などが産学官協働で取り組む「ものづくり協力会議」が行う次世代のものづくりインフラと目されるFabLab(ファブラボ:個人による自由なものづくりの可能性を広げるための実験工房)のモデル設置を支援し、普及のためのイベントを開催することとなった。 ○未来につながるものづくり支援事業(育成モデル事業) ・中・高校生各12名の募集に対し、中学生30名、高校生(普通科)15名から意欲的な志望動機を付した応募・参加と、多くの受講者から為になりやる気を得た旨の感想を得たことにより、この層への教える機会と、創造意欲を引き出す教えが不足していることが判明するな</p>

しを聞く研修の2本立てで実施した。

- 公立大学法人鳥取環境大学運営費交付金
 - ・大学の運営に必要な経費の一部について設立団体として運営費交付金を交付するとともに、朽化した施設の改修等のため施設整備補助金を交付した。また、地方独立行政法人法に基づき、鳥取環境大学評価委員会により、大学の平成24年度の業務実績を評価した。
- 高等教育機関等支援事業(鳥取県環境学術研究等振興事業)
 - ・環境学術研究基金の運用益により、高等教育機関が行う環境や地域課題に関する研究及び北東アジアとの学術交流に対して助成した。

ど、持続可能な育成システムの検討に大いに役立った。

- 公立大学法人鳥取環境大学運営費交付金
 - ・運営費交付金や施設整備補助金の交付により、大学が行う教育研究や地域貢献などの事業を支援した。また、鳥取環境大学評価委員会が業務実績評価を行う中で、「教育の質を高めるためのFD(ファカルティ・ディベロプメント)の全学的なシステムづくり」や「理事長(学長)のリーダーシップの下に教職員が一丸となって取り組む体制」など早急な対応が必要な課題を抽出し、大学に指摘した。
- 高等教育機関等支援事業(鳥取県環境学術研究等振興事業)
 - ①25年度採択課題数
 - ・鳥取環境大学(8課題) ・鳥取大学(13件)
 - ・岡山大学地球物質科学研究センター(三朝)(1課題)
 - ・鳥取短期大学(3課題)
 - ・米子工業高等専門学校(9課題)
 - ②採択に当たっては、外部学識者等からなる評価委員会の評価により決定。
 - ③終了した研究についても成果の評価や普及・活用評価を実施している。
 - ④前年度に終了した研究について、9/7,8の「とっとり産業フェスティバル」(布勢県立体育館)において、ポスター発表を行ったり、当課のホームページで情報発信した。

課題及び今後の対応

課題	平成26年度の対応
<p>【教育総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現在連携した取組を行っている大学のうち協定の締結がなされていない大学と今後設立する大学との協定などを、検討する必要がある。 <p>【高等学校課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○優れた知識・技能を有する講師の継続的な確保。 ○継続した地元企業や大学との連携。 <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○順調に講座等を実施できているが、さらに参加者を増やす必要がある。 <p>【教育・学術振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○未来につながるものづくり支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり人材の発達過程を通じて、各段階に切れ目のない良質なものづくり学習の機会を継続して提供されることが大切で、そのためにまずは、公教育の中で大きなウェイトを占める公立小中高で、ものづくり技術教育の充実が必要だが、すぐに教育現場の理解を得ることは困難。 ○公立大学法人鳥取環境大学運営費交付金 <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度入試では定員を超える入学生を確保し、平成24年度末卒業生の就職内定率も向上したほか、大学の平成24年度決算では1億を超える当期総利益をあげ、安定的な経営の礎が築かれた。平成25年度もこうした成果を継続して挙げていくことが重要。 ○高等教育機関等支援事業(鳥取県環境学術研究等振興事業) <ul style="list-style-type: none"> ・附属機関条例制定による評価委員会の附属機関化。 ・継続案件や早期着手案件の性質上、事業実施採択時期を前倒しする必要がある。 	<p>【教育総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成28年度鳥根大学教職大学院の設置に向けた鳥根大学との連携、意見交換等で検討した連携や協定について、具体的に進めていく。 <p>【高等学校課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企業や大学等と連携を強化し、各高校での取組を支援。 ○鳥取県版キャリア教育推進会議を開催し、キャリア教育推進のための具体的な取組を検討。 <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講座等の周知について、大学と連携し、効果的な広報活動を行う。 <p>【教育・学術振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○未来に役立つ「ものづくり教育」実践事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり教育実践の日常的拠点が無い等の課題を解決するため、鳥取大学や鳥取環境大学などが産学官協働で取り組む「ものづくり協力会議」が行う次世代のものづくりインフラと目されるFabLab(ファブラボ:個人による自由なものづくりの可能性を広げるための実験工房)のモデル設置を支援し、普及のためのイベントを開催することとなった。 ・一気通貫の「ものづくり教育」実践の課題を発見するために、平成25年度に引き続き中・高校生が対象の試行錯誤を通じて創造力を育むモデル研修を実施。 ・「ものづくり協力会議」が、東中西部で運営する「ものづくり道場」の指導者養成等の取組を支援(補助)する。 ○公立大学法人鳥取環境大学運営費交付金 <ul style="list-style-type: none"> ・設立団体として、大学運営への適切な指導・関与を継続していくとともに、就職率の向上志願者の安定的確保などの重要な課題に連携して取り組んでいくことが必要である。 ○高等教育機関等支援事業(鳥取県環境学術研究等振興事業) <ul style="list-style-type: none"> (1)附属機関化 <ul style="list-style-type: none"> ①委員身分を特別職の地方公務員に切替え。 ②運営規定の整備。 ③謝金支給科目の切替え。(報償費・特別旅費→報酬・費用弁償への流用) (2)審査の簡素化などを検討し新年度から年度当初より実施できるよう工夫する。

【参考】数値目標一覧

1 生涯にわたって自ら学び、社会全体で子どもたちを育む体制づくり

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)	23 (実績)	24 (実績)	25 (実績)	25 (最終目標)
▽心とからだいきいきキャンペーンの保護者認知（実施）率	41.3% ※41.3% (小中高特)	71.2% ※38.3% (幼保のみ)	68.6% ※33.8% (幼保のみ)	64.3% ※33.0% (幼保のみ)	46.6% ※46.6% (幼保のみ)	66.7% ※33.7% (幼保のみ)	100%
▽自治会単位の「人権学習会（小地域懇談会）」実施市町村	18市町村	19市町村	19市町村	18市町	18市町	19市町	全市町村 (19市町村)
▽「鳥取県家庭教育推進協力企業」認定企業数	184社 36.8%	253社 50.6%	416社 83.2%	533社 106.6%	562社 112.4%	570社 114%	500社
▽学校支援ボランティア事業実施市町村 ※（ ）は「学校支援地域本部」設置数 (内数)	2市町村 (2箇所)	5市町村 (5箇所)	7市町村 (7箇所)	12市町村 (6箇所)	15市町村 (7箇所)	15市町村 (7箇所)	16市町村 (10箇所)
▽「放課後子ども教室」設置市町村数	9市町村	10市町村	11市町村	11市町村	11市町村	10市町村	14市町村
・〔東部地区〕学社連携の取組を行う公民館数	2館	4館	6館	8館	10館	10館	8館
・〔中部地区〕学社連携推進モデル地域の指定	—	3市町 60%	3市町 60%	3市町 60%	5市町 100%	5市町 100%	各市町5地域
・〔西部地区〕学校・家庭・地域が連携した取組を実施している市町村実施率	—	5市町村 56%	9市町村 100%	9市町村 100%	9市町村 100%	9市町村 100%	100%
・〔西部地区〕子どもを中心とした地域の教育力の向上に向けた具体的取組を実施している市町村実施率	—	5市町村 56%	9市町村 100%	9市町村 100%	9市町村 100%	9市町村 100%	100%
▽「とっとりマスター」認定者数	1人	4人	6人	9人	11人	12人	10人
▽県立博物館の入館者数(6.1万人:H19)	8.3万人	6.7万人	9.4万人	9.9万人	11.1万人	9.3万人	6.8万人
▽公立図書館の個人貸出冊数 (人口一人当たり) (4.65冊:H19)	4.8冊 (28位)	5.0冊 (28位)	5.1冊 (26位)	5.2冊 (23位)	4.9冊 (28位)	H26.7月頃 (H27.3月頃)	5.2冊 (全国15位以内)
・船上山少年自然の家利用者数 ・船上山少年自然の家利用団体数 ・船上山少年自然の家目標十分達成率	27,628人 321団体 65%	27,154人 339団体 65%	27,674人 323団体 58%	26,147人 291団体 63%	24,702人 259団体 76%	25,243人 272団体 91%	27,000人 300団体 62%
・大山青年の家利用者数（幼児）	1,537人	2,052人	2,192人	2,295人	2,483人	1,988人	2,000人

※各年度のアンケートの回答項目の設定の違いにより、H20、H24は「知っている」の回答を、H21～H23は「知っている」と「聞いたことがあるが、内容については知らない」を合わせた数値を認知率としている。※の数値は、「知っている」のみの認知率

2 「知」「徳」「体」のバランスの取れた学校教育の推進

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)	23 (実績)	24 (実績)	25 (実績)	25 (最終目標)
▽大学・短大等進学率(43.9%:H19年)	43.6%	43.6%	45.0%	43.9%	43.3%	42.3%	50.0%(H30)
▽学校以外で平日60分以上学習(宿題や予習復習)している児童生徒の割合	小学6年	52.6%	56.3%	57.5%	※3 ×	58.2%	60%
	中学3年	64.0%	61.8%	65.6%	※3 ×	67.5%	70%
▽学力の二極化の傾向の解消(全国学力・学習状況調査及び高校入試結果で評価)	二極化傾向有り	二極化傾向有り	二極化傾向有り	二極化傾向有り(高校入試)	二極化傾向有り	二極化傾向無し(全国学力・学習状況調査)	二極化傾向有り(高校入試)
▽(小中)将来の夢や目標を持っている児童生徒の増加(全国学力・学習状況調査)	小学6年	81.2%	84.7%	85.9%	※3 ×	84.8%	85.3%
	中学3年	69.5%	69.1%	68.9%	※3 ×	71.7%	70.9%
(高校)進路実現のため目標に向かって努力している生徒の増加(高校生アンケート)	高校2年	45.2%	※1 -	47.3%	※1 -	57.1%	67.2%
▽(小中)国語、算数(数学)の勉強は好きだという項目の肯定的な回答の平均値の増加(全国学力・学習状況調査で評価)	小学6年	59.8%	62.0%	61.6%	※3 ×	63.8%	61.8%
	中学3年	51.5%	53.2%	53.4%	※3 ×	52.7%	54.7%
(高校)学ぶ意欲・態度に関する項目の肯定的な回答の増加(高校生アンケート)	高校2年	38.4%	※1 -	38.2%	※1 -	47.2%	※1 -
・〔東部地区〕総合的な学習の時間のカリキュラムの作成率	小40% 中30%	小80% 中60%	小100% 中70%	小100% 中90%	小100% 中100%	小100% 中100%	100%
・〔東部地区〕外国語活動のカリキュラムの作成率	20%	80%	100%	100%	100%	100%	100%
▽小中学校で「道徳の時間」の授業の公開状況(全て又は一部の学級で実施)	小学校:99.3%(H19)	100%	99.3%	95.7%	100%	100%	99.2%
	中学校:100%(H19)	100%	93.3%	98.3%	96.7%	88.3%	93.2%
▽一斉読書の実施率 *高校は一斉読書の実施率	小学校	94.6%	97.0%	97.0%	※4 -	99.3%	※4 -
	中学校	95.0%	94.0%	95.0%	※4 -	95.0%	※4 -
	高校	45.8%	55.0%	87.5%	87.5%	87.5%	91.6%
▽1日に全く読書をしなない児童生徒	小学6年	16.7%	15.8%	15.5%	※3 ×	16.7%	13.5%
	中学3年	30.8%	31.3%	29.3%	※3 ×	28.7%	29.6%
▽児童生徒が文化芸術に触れる機会を持つように努める⇒2年に1回以上(現状71.8%(H18及び19)に文化芸術に触れた学校の割合)	-	小88% 中82%	-	小97.8% 中83.3%	小99.3% 中86.2%	小99.3% 中100%	100% ※2学校における鑑賞教室等に関する実態調査(H19)
▽小・中学校とも不登校の出現率の減							
H19 不登校出現率	小学校0.43%	小0.40%	小0.36%	小0.33%	小0.34%	小0.37%	H26.10月頃公表
	中学校2.53%	中2.46%	中2.83%	中3.14%	中2.87%	中2.31%	H26.10月頃公表
	高校1.52%	高1.44%	高1.55%	高1.61%	高1.83%	高2.10%	H26.8月頃公表
・〔東部地区〕不登校児童生徒への組織的対応が十分できた学校の割合	60%	80%	85%	90%	100%	100%	100%(自己評価)

※1高校生アンケートは2年に1回実施のため、実績は隔年調査。

※2学校における鑑賞教室等に関する実態調査は5年に1回の調査のため、H21実績からの「学校教育成果と課題」で実態を把握した。H22は未調査。H23からは「学校教育実施状況調査」から。

※3「×」はH23全国学力・学習状況調査が実施されなかったため、データなし。

※4一斉読書の実施率は、小中学校のH20～H22は朝読書の実施率。H22から学校図書館現状調査が隔年実施となったため、H23、25のデータなし。

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)	23 (実績)	24 (実績)	25 (実績)	25 (最終目標)	
▽体力調査結果を親世代(S53～57)の平均値に近づける								
＜50m走＞ 親世代S53～S57(平均)								
小5男 9.05秒(100%)	9.28秒	9.36秒	9.36(97)	9.27(97)	9.44(96)	9.41(98)	9.23秒(98%)	
小5女 9.26秒(100%)	9.59秒	9.54秒	9.57(97)	9.61(97)	9.70(95)	9.62(98)	9.45秒(98%)	
中2男 7.86秒(100%)	8.01秒	7.92秒	7.93(99)	7.93(99)	7.91(99)	7.97(98)	7.86秒(100%)	
中2女 8.65秒(100%)	8.80秒	8.70秒	8.83(98)	8.78(98)	8.79(98)	8.80(98)	8.65秒(100%)	
＜ボール投げ＞親世代S53～S57(平均)								
小5男 31.0m(100%)	27.41m	25.67m	26.00(84)	25.88(83)	24.09(78)	23.85(85)	27.9m(90%)	
小5女 17.6m(100%)	15.27m	14.92m	15.37(88)	15.01(85)	14.19(80)	14.00(88)	15.8m(90%)	
中2男 22.3m(100%)	21.69m	20.94m	20.92(93)	20.85(93)	20.92(94)	20.49(89)	22.3m(100%)	
中2女 14.5m(100%)	13.35m	13.84m	13.35(92)	13.12(90)	13.00(89)	12.76(88)	14.5m(100%)	
▽校内性教育推進委員会設置率	小学校	43%	46%	51%	56%	65%	100%	100%
	中学校	75%	80%	73%	82%	85%	100%	100%
	高校	100%	100%	96%	100%	100%	100%	100%
	特別支援学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
▽中学、高校における薬物乱用防止教室の開催率	中学校	76.7%	70%	82%	84%	82%	76%	100%
	高校	83.3%	85%	79%	83%	79%	79%	100%
▽「食に関する指導年間計画」の作成率	小学校	68%	64%	73%	82%	87%	90%	100%
	中学校	48%	37%	44%	45%	52%	58%	100%
	特別支援学校	33%	29%	44%	44%	55%	60%	100%
▽朝食喫食率	小学5年	90.3%	91.2%	90.7%	99.5%	99.0%	99.4%	100%
	中学2年	89.6%	89.5%	86.7%	99.2%	99.3%	98.3%	100%
	高校2年	79.8%	84.6%	81.2%	96.5%	97.3%	96.6%	100%
▽学校給食用食材の県内産使用率		54%	57%	62%	66%	※71%	※71%	60%以上で向上
▽栄養教諭の市町村への配置		3町	9市町	11市町	16市町	16市町村	16市町村	全市町村
▽情報モラル教育の実施								
小学校：61.5% (H19)	— %	87.1%	90.6%	95.7%	98.5%	100%	100%	
中学校：80.0% (H19)	— %	95.0%	96.7%	96.7%	95.0%	100%	100%	
高校：100% (H19)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
▽環境教育全体計画の作成及び改善								
小学校：48.6% (H19)	54.6%	58.3%	60.4%	61.2%	64.9%	62.7%	100%	
中学校：35.0% (H19)	38.3%	31.7%	40.0%	41.7%	35.0%	40.7%	100%	
▽学校のT E A S II・Ⅲ種（鳥取県版環境管理方法）取得の促進 小中学校＝Ⅲ種、高・特＝Ⅱ種								
小学校：12.2% (H19)	11.4%	13.7%	15.1%	15.1%	14.2%	6.0%	25%	
中学校：15.0% (H19)	13.3%	15.0%	18.3%	15.0%	13.3%	5.1%	30%	
高校：41.7% (H19)	54.2%	62.5%	70.8%	91.7%	100%	100%	100%	
特別支援学校：28.6% (H19)	57.1%	100%	100%	100%	100%	87.5%	100%	

※H24は「県内加工」2%を含む。

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)	23 (実績)	24 (実績)	25 (実績)	25 (最終目標)	
全国学力学習状況調査質問紙調査より								
▽「新聞やテレビのニュースなどに関心を持つ児童生徒の増加」	小学6年	61.0%	65.1%	64.0%	※3 ×	63.5%	—	肯定的な回答率の増加 (H25調査項目なし)
	中学3年	63.1%	66.4%	63.1%	※3 ×	64.8%	—	
▽「今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある児童生徒の増加」	小学6年	43.4%	43.4%	—	※3 ×	—	—	肯定的な回答率の増加 (H22, 24, 25調査項目なし)
	中学3年	20.6%	21.6%	—	※3 ×	—	—	
▽「人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の増加」	小学6年	93.0%	93.3%	95.3%	※3 ×	94.5%	94.3%	肯定的な回答率の増加
	中学3年	90.5%	90.9%	92.7%	※3 ×	94.6%	93.6%	
▽「人が困っているとき、進んで助ける児童生徒の増加」	小学6年	77.5%	81.3%	82.4%	※3 ×	—	—	肯定的な回答率の増加 (H24, 25調査項目なし)
	中学3年	71.7%	71.0%	73.6%	※3 ×	—	—	
▽「今住んでいる地域の行事に参加する児童生徒の増加」	小学6年	74.8%	76.1%	76.1%	※3 ×	77.9%	79.1%	肯定的な回答率の増加
	中学3年	43.5%	43.7%	43.9%	※3 ×	44.6%	48.7%	
▽小学校教員による保育所・幼稚園での保育体験研修の実施	3市町村	6市町村	8市町村	11市町村	15市町村	16市町村	全市町村 (19市町村)	
▽幼稚園、保育所及び小学校の連絡協議会の設置や、教職員の交流の機会の設定	※5 —	※5 —	※5 —	79.1%	83.6%	85.8%	全ての小学校区で実施	
▽「子どもの育ちを支えるための資料（保育所児童保育要録）」の作成と小学校への送付 (平成22年度以降に就学する児童から対象)	—	100%	100%	100%	100%	100%	全ての保育所で実施	
▽認定こども園の設置	0施設	0施設	0施設	4施設	11施設	14施設	9施設(H26)	
▽個別の教育支援計画の作成 (H20公立幼・小・中・高)	27.3%	58.6%	75.2%	80.3%	84.1%	84.6%	80%	
▽個別の指導計画の作成 (H20公立幼・小・中・高)	84.9%	89.4%	90.2%	95.3%	95.6%	96.9%	100%	
▽特別支援学校高等部（専攻科含む）卒業生の就職希望者の就職率の向上（H19:50%） (H25は就労継続支援A型を除く)	71.4%	70.8%	79.1%	88.9%	78.5%	80.4%	75%以上	
(特別支援学校高等部（専攻科含む）卒業生の就職率の向上（H19:17.5%）（H25は就労継続支援A型を除く）)	28.0%	30.1%	28.3%	42.5%	35.7%	32.2%	30%以上	
▽特別支援学校教職員の該当障がい種に関する特別支援学校免許状保有率の向上	79.0%	78.0%	74.3%	71.7%	74.8%	76.1%	90%以上	
▽特別支援学級教員の該当障がい種に関する特別支援学校免許状保有率の向上	38.0%	39.5%	41.2%	38.7%	40.8%	40.5%	40%以上	

※5「幼稚園、保育所、小学校の連絡協議会の設置や、教職員の交流の機会の設定」のH20, 21, 22実績については、未調査であり、H23実績からは「学校教育実施状況調査」で実態を把握する。
 ※3「×」はH23全国学力・学習状況調査が実施されなかったため、データなし。

3 学校教育を支える教育環境の充実

【数値目標（平成25年度）】			20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)	23 (実績)	24 (実績)	25 (実績)	25 (最終目標)
▽学校評議員制度(類似制度を含む)の設置率									
<H19末>	幼稚園	44.4%	6園 66.7%	7園 77.8%	7園 ※6 87.5%	7園 100%	5園 100%	6園 83.3%	100%
	小学校	95.3%	141校 95.3%	136校 ※6 97.8%	138校 99.3%	138校 99.3%	134校 100%	134校 100%	100%
	中学校	93.3%	58校 96.7%	58校 96.7%	59校 98.3%	59校 98.3%	60校 100%	59校 98.3%	100%
	高校	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	特別支援学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
学校評価制度									
▽自己評価									
実施率	幼稚園	75%	100%	100%	87.5%	100%	100%	100%	100%
<H18末>	小学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	中学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	県立学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
公表率	幼稚園	33.3%	100%	100%	87.5%	85.7%	100%	100%	100%
<H18末>	小学校	33.8%	100%	100%	100%	97.8%	100%	100%	100%
	中学校	14.8%	100%	100%	100%	96.7%	100%	100%	100%
	県立学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
▽学校関係者評価									
実施率	幼稚園	0%	33%	67%	87.5%	100%	80%	83.3%	100%
<H18末>	小学校	50.9%	87%	89%	92.9%	95.7%	96.3%	100%	100%
	中学校	42.6%	80%	90%	88.3%	93.3%	98.3%	100%	100%
	県立学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
公表率	幼稚園	0%	33%	56%	75.0%	71.4%	100%	83.3%	100%
<H18末>	小学校	36.3%	57%	57%	60.7%	71.4%	75.2%	70.9%	100%
	中学校	23.1%	50%	55%	63.3%	66.1%	74.6%	67.8%	100%
	県立学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
・精神性疾患による休職者数の出現率は全国平均を下回るとともに休職者数は19年度の50%減とする(H19:37人)			100% 37人	105% 39人	84% 31人	105% 39人	100% 37人	111% 41人	50%減 19人減
・【東部地区】「学ぶ意欲の向上」の取組推進学校数			6校	11校	16校	24校	30校	47校	20校
【西部地区】・セミナーごとの学校参加率			20%	20%	19%	※7 -	※7 -	※7 -	60%
・研修内容を学校経営や校内研究等で活用している研修成果率(セミナー後の追跡調査及び学校訪問等での聴き取りを実施)			50%	50%	32%	※7 -	※7 -	※7 -	80%
▽公立学校の耐震化率の向上									
	高校	47.0%(H20.4)	50.6%	53.6%	68.8%	78.1%	87.1%	92.7%	90%
	特別支援学校	82.6%(H20.4)	84.8%	97.8%	100%	100%	100%	100%	100%
	小中学校	58.7%(H20.4)	62.9%	65.7%	72.1%	76.3%	81.9%	87.0%	80%
	幼稚園	55.6%(H20.4)	55.6%	66.7%	50.0%	100%	100%	100.0%	100%
▽小学校での学校地域安全マップ作成率			82%	76%	81%	89%	95%	96%	90%
・学校安全に関するマニュアルの作成率	小学校		92.7%	85.0%	100%	100%	100%	100%	100%
	中学校		80.3%	80.0%	95%	100%	100%	100%	100%
	高校		95.8%	80.8%	100%	100%	100%	100%	100%
	特別支援学校		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※6 「学校評議員制度(類似制度を含む)の設置率」に係る小学校のH21実績については、分母となる学校が減ったことと新規に設置した学校が増えたこと等により、H20より設置率が増加している。また、幼稚園のH22実績についてはH21実績と同数であるが、分母となる学校が減ったことにより、H21より設置率が増加している。

※7 「-」はH23より研修の対象者等を変更して実施しているため、データなし。

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)	23 (実績)	24 (実績)	25 (実績)	25 (最終目標)
・修学資金の支援(奨学資金の貸与財源の一部となる返還未収金の徴収に取り組み、収納額の向上を図る。奨学資金収納額4.9億円)	3.2億	3.7億	4.2億	4.6億	4.7億	5.3億	4.9億
・私立中・高等学校(7校)の学校関係者評価実施率	71.4%	85.7%	85.7%	85.7%	100%	100%	100%
・私立幼稚園(28園)における学校関係者評価の実施率	0%	39.3%	35.7%	35.7%	35.7%	H26.8月頃公表予定	100%

4 文化・芸術の振興と文化財の保存・活用

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)	23 (実績)	24 (実績)	25 (実績)	25 (最終目標)
▽県指定文化財の新規指定件数	3件	4件	12件	7件	6件	4件	合計15件
・妻木晩田遺跡来場者数	31,895人	26,211人	38,198人	35,125人	33,032人	28,027人	50,000人
・青谷上寺地遺跡展示館来場者数	10,321人	8,195人	7,465人	7,886人	7,698人	8,427人	20,000人

※史跡等総合整備活用推進事業が終了するH24から年間5万人を目指す。

5 スポーツの振興

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)	23 (実績)	24 (実績)	25 (実績)	25 (最終目標)
▽総合型地域スポーツクラブの設置	旧20市町村 52%	旧21市町村 54%	旧22市町村 57%	旧22市町村 57%	旧20市町村 51%	旧23市町村 58%	旧39市町村 100%(H28)
▽県民(成人)の運動・スポーツ実施率 平成16年度実績(44.3%)	直近調査はH16	51.7%	直近調査はH21	直近調査はH21	直近調査はH21	直近調査はH21	60%以上
▽国民体育大会	46位	47位	46位	44位	44位	45位	40位台前半 (常時30位台)

6 鳥取県教育振興基本計画の推進に向けた体制づくり

【数値目標（平成25年度）】	20 (実績)	21 (実績)	22 (実績)	23 (実績)	24 (実績)	24 (実績)	25 (最終目標)
▽「鳥取県教育振興基本計画」数値目標達成率	—	26.7%	29.9%	37.4%	47.6%	52.9%	100%
▽市町村教育委員会の「指導主事」配置率	89% (17市町村)	89% (17市町村)	100% (19市町村)	100% (19市町村)	100% (19市町村)	100% (19市町村)	全市町村 (19市町村)

Ⅲ 条例、規則の制定・改廃

区分 番号	公布・施行年月日	題 名	概 要
条例 第56号	公 25. 10. 11 施 26. 4. 1 家庭・地域教育課	鳥取県固定資産評価審議会条例等の一部を改正する条例(鳥取県社会教育委員に関する条例の一部改正)	鳥取県社会教育委員の委嘱の基準を定めた。
条例 第10号	公26. 3. 25 施26. 4. 1 スポーツ健康教育課	鳥取県教育委員会の権限に属する事務の処理の特例に関する条例等の一部を改正する条例(鳥取県スポーツ審議会条例の一部改正)	平成26年4月、知事部局に文化観光スポーツ局が新設されることに伴い改正を行った。
条例 第13号	公26. 3. 25 施26. 4. 1 家庭・地域教育課	鳥取県行政財産使用料条例等の一部を改正する条例(鳥取県立青少年社会教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正)	施設使用料について、青年区分を一般区分に統合するとともに、料金の改定を行った。
条例 第13号	公26. 3. 25 施26. 4. 1 博物館	鳥取県行政財産使用料条例等の一部を改正する条例(鳥取県立博物館の設置及び管理に関する条例の一部改正)	受益と負担の公平の確保を図るため、博物館内展示室等の使用料の改正を行った。
条例 第23号	公 26. 3. 25 施 26. 4. 1 高等学校課	鳥取県県立高等学校授業料等徴収条例の一部改正を改正する条例	公立高校に係る授業料不徴収制度を廃止し、就学支援金制度に一本化されたため、授業料の徴収を再開することとした。
規則 第6号	公25. 5. 10 施25. 5. 10 教育総務課	鳥取県教育委員会事務局等組織規則の一部を改正する規則	鳥取県の公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例により設置された審査委員会が附属機関であることが明確にされたことに伴う改正を行った。
規則 第7号	公25. 9. 13 施26. 4. 1 高等学校課	鳥取県立学校管理規則の一部を改正する規則	高等学校の適正な運営を図るため、収容定員を改めた。
規則 第8号	公25. 10. 11 施25. 10. 11 教育総務課	鳥取県教育委員会事務局等組織規則の一部を改正する規則	鳥取県附属機関条例の制定に伴い、所要の改正を行った。
規則 第9号	公25. 10. 29 施26. 4. 1 特別支援教育課	鳥取県立学校管理規則の一部を改正する規則	皆生養護学校の高等部病弱教育部門の設置に伴い、教育の対象とする障がい種別を定める等所要の改正を行った。
規則 第10号	公25. 12. 27 施25. 12. 27 高等学校課	鳥取県立学校管理規則の一部改正について	学校教育法施行規則の一部改正に伴い、土曜日等を休業日から除外できることとした。
規則 第32号	公26. 3. 28 施26. 4. 1 高等学校課	県立学校の授業料等及び社会教育施設の使用料の減免に関する規則の一部を改正する規則	就学支援金制度の導入に伴い、県立学校の授業料等の減免事由を見直すこととした。
規則 第1号	公26. 3. 28 施26. 4. 1 教育総務課	平成26年4月の組織改正に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則	教育行政を適正かつ円滑に執行するため、教育委員会事務局の組織の改正その他の所要の改正を行った。
規則 第2号	公26. 3. 28 施26. 4. 1 教育総務課	現業職員の給与に関する規則等の一部を改正する規則	現業職員の給与について、職員の給与に関する条例の適用を受ける職員と同様の改定を行った。
規則 第3号	公26. 3. 28 施26. 3. 28 小中学校課	鳥取県教育職員の免許状の授与等に関する規則の一部を改正する規則	教育職員免許法が一部改正され、保育士資格を有する者に対する幼稚園教諭免許状授与の所要資格の特例が定められたことに伴い、所要の改正を行った。
規則 第4号	公26. 3. 28 施26. 4. 1 高等学校課	鳥取県立学校管理規則の一部を改正する規則	県立高校に司書主任を置くことができることとし、職務内容についても規定した。
規則 第5号	公26. 3. 28 施26. 3. 28 高等学校課	鳥取県立高等学校学則の一部を改正する規則	学校教育法施行規則の一部改正に伴い、鳥取県立学校管理規則の一部を改正したことにより、土曜日等を休業日から除外できることとした。
規則 第6号	公26. 3. 28 施26. 4. 1 家庭・地域教育課	鳥取県立船上山少年自然の家の管理運営に関する規則及び鳥取県立大山青年の家の管理運営に関する規則の一部を改正する規則	施設使用料の改正に伴い申請書等様式について所要の改正を行った。

規則 第7号	公26. 3. 28 施26. 3. 28 人権教育課	鳥取県育英奨学資金貸与規則の一部を改正する規則	貸与対象者の居住要件を緩和し、1年以内に転入した者も対象とした。また、申請書類を見直し、貸与までの手続きを緩和した。
訓令 第3号	公25. 8. 9 施25. 8. 9 教育総務課	鳥取県教育委員会職員服務規程の一部を改正する訓令	供応接待等の禁止について明文化した。
訓令 第4号	公25. 10. 11 施25. 10. 11 教育総務課	鳥取県教育委員会事務処理権限規程の一部を改正する訓令	鳥取県附属機関条例の制定及び学校教育法施行令の一部改正に伴い、鳥取県教育委員会事務局の事務処理権限の区分について、所要の改正を行った。
訓令 第1号	公26. 3. 28 施26. 4. 1 教育総務課	教育委員会事務局職員の任免発令規程の一部を改正する訓令	地方独立行政法人法の一部改正に伴う所要の改正を行った。
訓令 第2号	公26. 3. 28 施26. 4. 1 教育総務課	鳥取県教育委員会事務処理権限規程の一部を改正する訓令	事務局の臨時的任用職員の任免等の事務処理権限について見直しを行うとともに、平成26年4月の組織改正に伴う所要の改正を行った。

IV 附属機関の開催状況

(1) 鳥取県教育審議会 [教育総務課]

年	月	日	主 な 内 容
25	6	4	1 次代を担う生徒を育成するための魅力と活力にあふれる本県高等学校教育の在り方について 2 次期教育振興基本計画（平成26年度～平成30年度）について
26	1	10	1 鳥取県教育振興基本計画（平成26年度～平成30年度）（案）について 2 特別支援教育の今後のあり方について
26	3	10	1 鳥取県における今後の特別支援教育の在り方について 2 鳥取県教育振興基本計画（平成26年度～平成30年度）の改訂について

①鳥取県教育審議会 学校等教育分科会 [高等学校課]

年	月	日	主 な 内 容
25	6	4	1 今後の県立高等学校の在り方について
25	9	27	1 今後の県立高等学校の在り方について
25	11	11	1 今後の県立高等学校の在り方について
25	12	19	1 今後の県立高等学校の在り方について
26	1	10	1 今後の県立高等学校の在り方について
26	2	17	1 今後の県立高等学校の在り方について

①-1 鳥取県教育審議会 学校教育分科会特別支援教育部会 [特別支援教育課]

年	月	日	主 な 内 容
26	3	26	1 諮問事項と主な論点 2 平成21年度から25年度の特別支援教育に係る取組状況 3 今後の開催スケジュール

②鳥取県教育審議会 学校運営分科会 [小中学校課]

年	月	日	主 な 内 容
			未開催

③鳥取県教育審議会 生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議 [家庭・地域教育課]

年	月	日	主 な 内 容
25	10	2	1 平成26年度の社会教育関係団体への補助金の考え方について 2 今後の本県の社会教育に係る人材育成について
26	2	14	1 本県の社会教育に係る人材育成について 2 平成26年度ケータイ・インターネット教育啓発推進事業について

(2) 鳥取県教科用図書選定審議会 [特別支援教育課]

年	月	日	主 な 内 容
25	4	26	第1回鳥取県教科用図書選定審議会 1 教科用図書の採択に関する事項についての審議 (1) 平成26年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択基準について (2) 平成26年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の選定に必要な資料について (3) 県の設置する義務教育諸学校（県立特別支援学校）において使用する教科用図書の採択について
25	5	14	第1回教科担当者研究協議会 1 教科書（一般図書）の選定に関する調査研究
25	5	22	第2回教科担当者研究協議会 1 科書（一般図書）の選定に関する調査研究
25	6	14	第2回鳥取県教科用図書選定審議会 1 教科用図書の採択に関する事項についての審議 (1) 一般図書選定に必要な資料について

(3) 鳥取県就学指導委員会 [特別支援教育課]

年	月	日	主 な 内 容
25	4	8	1 障がい児の障がいの種類及び程度による教育措置の審査（1件）
25	10	24	1 障がい児の障がいの種類及び程度による教育措置の審査並びに就学指導に関する事項について調査審議（16件）
26	1	7	1 障がい児の障がいの種類及び程度による教育措置の審査並びに就学指導に関する事項について調査審議（45件）
26	1	23	1 障がい児の障がいの種類及び程度による教育措置の審査並びに就学指導に関する事項について調査審議（24件）
26	2	27	1 障がい児の障がいの種類及び程度による教育措置の審査（1件）
26	3	5	1 前回審査した障がい児の障がいの種類及び程度による教育措置の継続審査（1件）

(4) 鳥取県文化財保護審議会 [文化財課]

年	月	日	主 な 内 容
25	8	9	1 議案 (1) 天然記念物 (地質鉱物)「赤波川溪谷のおう穴群」の県指定について (2) 無形民俗文化財 (風俗習慣)「赤松の荒神祭」の県指定について (3) 天然記念物 (植物)「クマガイソウ群生地」指定の見送りについて 2 報告事項 (1) 文化財の諮問について (新興寺文書) (2) 県内文化財建造物の新規国指定について (尾崎家住宅) (3) 国指定重要無形文化財の保持者認定について (白磁・前田昭博) (4) 県内文化財建造物の新規国登録について (興禅寺本堂) (5) 部会、現地調査の活動状況について (6) 文化財課の取り組みについて
26	2	18	1 議案 (1) 保護文化財 (絵画)「阿弥陀三尊来迎図」の県指定について (2) 保護文化財 (建造物)「常福寺経蔵及び山門」の県指定について (3) 「因幡の麒麟獅子舞」調査専門部会の設置について 2 協議事項 (1) 継続審議となっている議案の取下げと今後の取り組みについて 3 報告事項 (1) 県内伝統的建造物群保存地区の新規国選定について (所子伝統的建造物群保存地区) (2) 県内文化財建造物の新規国登録について (岩田家住宅、面谷家住宅) (3) 部会、現地調査の活動状況について (4) 鳥取西道路建設に伴う発掘調査事業について (5) 全国海女文化保存・振興会議について (6) 文化財課の取り組みについて

(5) 鳥取県立図書館協議会 [図書館]

年	月	日	主 な 内 容
25	6	18	1 平成24年度事業実績について 2 平成25年度予算及び事業計画について 3 「鳥取県立図書館の図書館像 (改定版)」にもとづく図書館の評価について
26	2	13	1 平成25年度事業の実施状況について 2 「鳥取県立図書館の図書館像 (改定版)」にもとづく図書館の評価指標の中間報告について 3 平成26年度予算要求状況及び事業計画について

(6) 鳥取県立博物館協議会 [博物館]

年	月	日	主 な 内 容
25	8	30	1 平成24年度鳥取県立博物館実施事業について 2 平成25年度鳥取県立博物館事業について 3 鳥取県立博物館の今後のあり方について
26	3	24	1 博物館のあり方検討について 2 平成25年度事業実施状況について 3 平成26年度事業について

(7) 鳥取県育英奨学生選考委員会 [人権教育課]

年	月	日	主 な 内 容
25	6	19	1 鳥取県育英奨学生 (在学申請分) の選考について
25	11	6	1 鳥取県育英奨学生 (予約申請分) の選考について

(8) 心や性の健康問題対策協議会 [スポーツ健康教育課]

年	月	日	主 な 内 容
25	7	4	1 報告 (1) 鳥取県における思春期保健対策関連事業体系について (2) 平成25年度心や性の健康問題対策事業について 2 協議 (1) 心や性の健康問題対策事業の円滑な実施に向けて
26	1	30	1 報告 (1) 心や性の健康問題対策協議会の附属機関化について (2) H25・26年度 心や性の健康問題対策事業等について (3) H25・26年度 関係課実施事業について 2 協議 (1) 心や性の健康問題対策事業等の円滑及び効果的な実施に向けて (2) 心や性等の健康教育の推進について

(9) 鳥取県スポーツ審議会 [スポーツ健康教育課]

年	月	日	主 な 内 容
25	5	22	1 報告 (1) 平成24年度体力テスト結果について (2) 昨年度の審議経過及び概要 (3) 本年度の審議予定 2 議題 (1) 鳥取県スポーツ振興計画改定に向けて ①改訂版の骨子について ②内容について (2) 鳥取県「運動部活動ガイドライン」の策定について
25	7	8	1 議題 (1) 鳥取県スポーツ振興計画策定について ①骨子について ②内容について
25	9	11	1 議題 (1) 鳥取県スポーツ推進計画の内容について 第1章 鳥取県スポーツ推進計画の概要について 第2章 具体的施策の方向性について 第3章 計画の推進 (2) 児童生徒のスポーツ活動ガイドラインの策定について ①ガイドライン策定の進行状況について
25	11	6	1 報告 (1) 第68回国民体育大会（スポーツ祭東京2013）の結果について (2) 第13回全国障害者スポーツ大会（スポーツ祭東京2013）の結果について 2 議題 (1) 鳥取県スポーツ推進計画の内容について 第1章 鳥取県スポーツ推進計画の概要について 第2章 具体的施策の方向性について 第3章 計画の推進 (2) 児童生徒のスポーツ活動ガイドライン策定について
25	11	18	1 答申 「鳥取県スポーツ振興計画の見直しについて」油野スポーツ審議会委員長から中島教育委員長へ答申
26	2	17	1 議題 (1) 鳥取県スポーツ推進計画の策定について ①パブリックコメントの結果について ②鳥取県スポーツ推進計画（案）について ③巻末資料について (2) その他 ①今後のスポーツ推進計画のスケジュール ②スポーツ推進計画のアクションプランについて 2 その他 (1) 報告 子どものスポーツ活動ガイドラインについて
26	3	27	1 報告 (1) 第14回鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭の実施結果について (2) 鳥取県スポーツ推進計画の策定について (3) 鳥取県スポーツ推進計画【概要版】リーフレットについて (4) スポーツ推進計画のアクションプランについて 2 議題 (1) 県民の運動・スポーツに関する調査について

(10) 鳥取県特別支援学校医療的ケア実施体制検討委員会 [特別支援教育課]

年	月	日	主 な 内 容
26	1	30	1 特別支援学校における医療的ケアに係る県の取組について 2 国の動向について
26	2	14	1 通学時において医療的ケアを必要とする児童生徒等への対応の在り方について
26	2	25	1 社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正を踏まえた、今後の特別支援学校における医療的ケアの在り方について
26	3	7	1 これまでの協議を踏まえた県の方針を提案 2 まとめ

(11) 鳥取県子どもの読書活動推進委員会 [家庭・地域教育課]

年	月	日	主 な 内 容
25	6	27	1 平成25年度子どもの読書活動推進事業について 2 鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第3次計画）策定について
25	9	13	1 鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第3次計画）素案について
25	11	13	1 鳥取県子どもの読書活動推進委員会運営要綱の制定について 2 鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第3次計画）案について 3 平成26年度予算案について
26	2	17	1 鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第3次計画）案について 2 平成26年度予算案について

(12) 鳥取県子どもの体力向上支援委員会 [スポーツ健康教育課]

年	月	日	主 な 内 容
26	1	28	1 説明・報告 (1) 委員会趣旨説明等 (2) 児童生徒の体力の状況について (3) 平成25年度の体力向上に関する取組について ① 体力向上支援事業 ② 学校体育充実事業 ③ 体力向上推進プロジェクト事業 2 協議 (1) 児童生徒の体力・運動能力課題の洗い出しとその改善策について
26	2	18	1 説明・報告 (1) 「児童生徒の体力づくり」（報告書）について (2) 平成26年度事業について (3) 平成26年度鳥取県子どもの体力向上支援委員会の活動について 2 協議 (1) 平成26年度事業について（効果的な実施等） (2) 体力向上に向けた具体的な取組について (3) 子どもの体力向上推進モデル校実践事業の評価指標・アンケート項目などについて

V 参考資料

(1) 教育行政記録

年	月	日	記 事	担 当 課	
25	4	1	・エキスパート教員認定制度5年次(新規認定者を含め81名)を認定 ・いじめ・不登校総合対策センター開所式	小中学校課 いじめ・不登校 総合対策センター	
		10	・第1回県・市町村(学校組合)教育行政連絡協議会	教育総務課	
		16	・第1回高校生マナーアップさわやか運動(～4/19 約4,700人参加)	高等学校課	
		21	・むきばんだ弥生の森講座①「春の自然を味わおう」	文化財課	
		24	・全国学力・学習状況調査の実施	小中学校課	
		26	・第1回鳥取県教科用図書選定審議会開催	小中学校課、特別支 援教育課	
		27	・GWはむきばんだ日和!(～5/6) ・「座・ベスト展 一すわる人の表現 10景一」(～6/2)	文化財課 博物館	
		5	1	・新体力テストの実施(～7月)・報告(実施後～8月末)	スポーツ健康教育課
			6	・鳥取県指定保護文化財「奥田家住宅」特別公開(共催、於鳥取市)	文化財課
			8	・事務局コンプライアンス研修(1回目) ・第1回県立高等学校入試改善研究専門委員会	教育総務課 高等学校課
	10		・事務局コンプライアンス研修(2回目) ・教育だより「とっとり夢ひろば」67号発行(以降7,9,12,2月発行) ・中国高等学校選手権大会(5/10～12 6/7～9 6/21～23 7/19～ 22 11/16～17 1/28～30)	教育総務課 スポーツ健康教育課	
	11		・郷土文化講演会「書と放哉俳句」を開催(放哉展～5/1) ・むきばんだ実験考古学講座①「カゴ復元実験1」(～5/12)	図書館 文化財課	
	14		・県民スポレク祭実行委員会	スポーツ健康教育課	
	16		・鳥取大学と鳥取県教育委員会との意見交換会(第10回)	教育総務課	
	17		・県立学校第三者評価説明会	高等学校課	
	19		・むきばんだ実験考古学講座②「絹織物復元研究1」 ・伝統芸能功労団体賞表彰式(於倉吉市) ・小学生指導者講習会(剣道)(サッカー6/29,柔道9/8)	文化財課 文化財課 スポーツ健康教育課	
	20		・第1回学校の通学路安全対策会議	スポーツ健康教育課	
	22		・第2回県立高等学校入試改善研究専門委員会	高等学校課	
	23		・心とからだいきいきキャンペーン啓発のぼり配布	教育総務課	
	25		・むきばんだ実験考古学講座①「カゴ復元実験2」(～5/27) ・国史跡青谷上寺地遺跡土曜講座第1回「弥生の森と大地のめぐみ ①～青谷上寺地遺跡の動物利用～」 ・武道実技講習会【柔道】(12人参加 東部)	文化財課 文化財課 スポーツ健康教育課	
			・高校生まんが王国とっとり応援団発足式(生徒49名参加)	高等学校課	
	27		・第1回幼保小連携カリキュラム開発に係る開発委員会	小中学校課	
	28		・江原道教育庁との教育交流(7名受入)(～5/31) ・心とからだいきいきキャンペーン4コマまんがポスター配布	教育総務課 教育総務課	
	29		・市町村(学校組合)教育委員会特別支援教育担当者連絡会	特別支援教育課	

年	月	日	記 事	担 当 課	
25	5	29	・ 鳥取県就学指導連絡協議会	特別支援教育課	
			・ 第1回船上山少年自然の家運営委員会	家庭・地域教育課	
		30	・ 江原道教育視察回来所	いじめ・不登校 総合対策センター	
		31	・ 第1回相談窓口関係機関連絡会議	いじめ・不登校 総合対策センター	
			・ 第1回大山青年の家運営委員会	家庭・地域教育課	
			・ 平成25年度第1回鳥取県文化財保護行政担当者会議（於湯梨浜町）	文化財課	
		6	1	・ 県高等学校総合体育大会（6/1～3, 8, 9, 22～23 10/26 11/2～3 1/8～10）	スポーツ健康教育課
	4		・ 鳥取県教育審議会（第13回）	教育総務課	
		5	・ 「一般社団法人鳥取県中小企業診断士協会、公益財団法人鳥取県 産業振興機構、鳥取県立図書館、及び倉吉市立図書館」と協定書 「起業・第二創業を目指す方へ！創業補助金説明会&ビジネス作 成講座」を開催（6/5県立図書館、6/9倉吉市）	図書館	
			・ 銃砲刀剣類登録審査会（於：倉吉市）	図書館	
			・ 銃砲刀剣類登録審査会（於：倉吉市）	文化財課	
		7	・ ハラスメント対策担当者研修会	教育総務課	
			・ 教科書展示会（～7/4）県内5ヶ所	高等学校課	
			・ 山陰海岸学習館の在り方策定検討委員会：延4回開催（～2/12）	博物館	
		8	・ 高校生海外留学・海外体験説明会	高等学校課	
			・ 「もっと知りたい！版画のこと」（～7/15）	博物館	
		9	・ 「起業・第二創業を目指す方へ！創業補助金説明会&ビジネス作 成講座」を開催（6/5県立図書館、6/9倉吉市）	図書館	
			・ むきばんだ弥生の森講座②「弥生の森を育てる！」	文化財課	
		14	・ 第2回鳥取県教科用図書選定審議会開催	小中学校課、特別支 援教育課	
		15	・ 埋蔵文化財専門職員研修（遺跡調査検討課程）	文化財課	
		16	・ むきばんだ弥生講座①「弥生土器づくり」	文化財課	
			・ 鳥取県クラブマネジャー研修会（計3回 7/7 8/4）	スポーツ健康教育課	
		18	・ 江原道教育庁との教育交流（10名訪韓）（～6/23）	小中学校課、高等学校課	
			・ 第1回教育委員会指定管理候補者審査委員会（鳥取県立生涯学習 センター）	家庭・地域教育課	
		19	・ 「子育て親育ちプログラム」ファシリテータ養成講座（全県）	家庭・地域教育課	
		21	・ 鳥取県立博物館の在り方館内検討会：延7回開催（～12/5）	博物館	
		22	・ 「外国語で楽しむえほんのじかん」を開催（6月から毎月第4土曜 日に開催）	図書館	
		27	・ 県立特別支援学校の通学支援を考える会（西部地区）	特別支援教育課	
			・ 経済4団体への新規高等学校卒業生求人要請訪問	高等学校課	
		28	・ 学校体育実技講習会（6/28 7/30 計161名）	スポーツ健康教育課	
		29	・ 特別な支援を必要とする子どもたちの明日を語る会（東部地区）	特別支援教育課	
			・ 土曜自主セミナー（まったなし！情報モラル指導～「ネット社会 の歩き方」講師育成セミナー）	教育センター	
		30	・ 鳥取県子ども読書アドバイザー研修会	家庭・地域教育課	
		・ むきばんだ実験考古学講座②「絹織物復元研究2」	文化財課		
	7	1	・ 県立特別支援学校の通学支援を考える会（中部地区）	特別支援教育課	
			・ 「Facebookページ」を公開	図書館	
	2	・ 鳥取県学校における防災教育研修会（倉吉体育文化会館93人）	スポーツ健康教育課		

年	月	日	記 事	担 当 課	
25	7	3	・ 県立特別支援学校の通学支援を考える会（西部地区）	特別支援教育課	
		4	・ 学校支援ボランティア研修会（全県）（東部：2/21，中部：2/17，西部：2/17）	小中学校課、家庭・地域教育課	
		5	・ 市町村（学校組合）教育委員会新任教育委員研修会	教育総務課	
				・ 郷土資料室内に「ふるさと鳥取コーナー」を開設	図書館
				・ ふるさと鳥取コーナー開設記念展示「ふるさと鳥取情報展2013～鳥取の昔と今～」を開催（～8/20）	図書館
		6	・ 土曜自主セミナー（絆を深める学級経営～人の中で人は育つ～）	教育センター	
				・ 図書館に行こう！！鳥取を知ろう！！キャンペーン「ふるさと鳥取クイズ」を実施（～9/1）	図書館
				・ むきばんだ実験考古学講座②「弥生の土器を復元する！」（～7/7）	文化財課
				・ 第1回運動部活動外部指導者等研修会（26人参加 西部）	スポーツ健康教育課
		7	・ 「子育て親育ちプログラム」ファシリテータ養成講座（東部地区）	家庭・地域教育課	
				・ 鳥取県クラブマネージャー研修会（計3回 6/16 8/4）	スポーツ健康教育課
		9	・ 特別な支援を必要とする子どもたちの明日を語る会（中部地区）	特別支援教育課	
				・ 第1回教職員研修等実施協議会	教育センター
		10	・ 「子育て親育ちプログラム」ファシリテータ養成講座（中部地区）	家庭・地域教育課	
		12	・ 第1回英語教育推進委員会	高等学校課	
		13	・ 企画展「サルとヒト ―ヒトってなんだろう？―」（～8/25）	博物館	
		17	・ 特別な支援を必要とする子どもたちの明日を語る会（西部地区）	特別支援教育課	
		18	・ 国指定重要文化財「福田家住宅」修理現場特別公開（共催、於鳥取市）	文化財課	
		19	・ 第2回大山青年の家運営委員会	家庭・地域教育課	
		20	・ 「ランランらいん ―線ってふしぎ！―」（～8/25）	博物館	
				・ サイエンスレクチャー「白川博士講演会」	博物館
		24	・ 第2回船上山少年自然の家運営委員会	家庭・地域教育課	
				・ 「子育て親育ちプログラム」ファシリテータ養成講座（西部地区）	家庭・地域教育課
				・ 古代と自然探検隊①「遺跡見学&カヌー体験」	文化財課
		26	・ 韓国江原外国語教育院教員派遣（～8/11 中学校教員2人）	高等学校課	
				・ 来て！見て！！さわって！！とっとり発掘速報展 中部展（～7/28）	文化財課
		27	・ 国史跡青谷上寺地遺跡土曜講座第2回「琴浦町の弥生時代遺跡」	文化財課	
				・ 教員向け講座 自然「石ころ図鑑作成（川原編）」	博物館
		29	・ 高等学校における特別な支援を必要とする生徒支援ネットワーク会議（東部地区第1回）	高等学校課	
		30	・ 第2回幼保小連携カリキュラム開発に係る開発委員会	小中学校課	
				・ とっとりリーダー育成プロジェクト合宿（～8/1 於：大山青年の家 生徒18人参加）	高等学校課
				・ 第19回鳥取県図書館大会を開催	図書館
				・ 学校体育実技講習会（6/28 7/30 計161名）	スポーツ健康教育課
8	1	・ 「子育て親育ちプログラム」ファシリテータ養成講座（東部地区）	家庭・地域教育課		
		・ むきばんだ弥生の森講座③「昆虫採集」	文化財課		
		・ むきばんだ日和サマーナイト（～4日）	文化財課		
	2	・ 学校給食衛生管理講習会（倉吉未来中心252人）	スポーツ健康教育課		
	3	・ いじめ問題シンポジウム	いじめ・不登校総合対策センター		

年	月	日	記 事	担 当 課
25	8	3	・ 鳥取県PTA協議会教育懇談会 ・ むきばんだ弥生講座②「土器の野焼き」 ・ 埋蔵文化財センター「古代まつり」	家庭・地域教育課 文化財課 文化財課
		4	・ 教員向け講座 自然「石ころ図鑑作成（海岸編）」 ・ 鳥取県クラブマネジャー研修会（計3回 6/16 7/7）	博物館 スポーツ健康教育課
		5	・ 市町村（学校組合）教育委員会委員研修会 ・ 第24回鳥取県道德教育研究大会 ・ 高校生英語キャンプ（～8/7 於：鳥取環境大学 生徒33人参加） ・ 「子育て親育ちプログラム」ファシリテータ養成講座（西部地区）	教育総務課 小中学校課 高等学校課 家庭・地域教育課
		6	・ 教育課程研究集会（中学校） ・ 高校生合同勉強合宿（2年生）（～8/9 於：大山青年の家 生徒40人参加）	小中学校課 高等学校課
		7	・ 鳥取県学力向上戦略本部第1回中高学力部会 ・ 「尾崎家住宅」（湯梨浜町）の県指定保護文化財指定解除（国重要文化財指定による） ・ 鳥取県性教育・エイズ教育研修会（まなびタウンとうはく110人）	高等学校課 文化財課 スポーツ健康教育課
		8	・ 学校教育法施行令の一部を改正する政令案に関する説明会 ・ 第1回いじめ・不登校対策本部会議 ・ hyper-QU研修会 いじめ問題の解消につながるhyper-QUの活用の仕方 ・ 高校生まんが王国鳥取応援団デジタルイラスト制作ワークショップ（於：デジタルハリウッド米子 生徒9人参加）	特別支援教育課 いじめ・不登校 総合対策センター 高等学校課 高等学校課
		9	・ 新規高等学校等卒業者就職問題連絡会議 ・ 小中学生一日英語村体験（夏）（中学生8/9・8/23小学生8/10・8/24） ・ 第1回鳥取県文化財保護審議会 ・ 古代と自然探検隊②「遺跡見学&貝輪づくり」	高等学校課 高等学校課 文化財課 文化財課
		10	・ 「子育て親育ちプログラム」ファシリテータ養成講座（中部地区）	家庭・地域教育課
		11	・ 教員向け講座 「お金をつくろう！」	博物館
		12	・ 第1回ICTを活用した学びの支援事業職員研修会 ・ 高校生まんが王国鳥取応援団デジタルイラスト制作ワークショップ（於：デジタルハリウッド米子 生徒15人参加）	特別支援教育課 高等学校課
		16	・ 第1回県立学校第三者評価委員 ・ なりきり弥生人生活（8/16～17、8/17～18）	高等学校課 文化財課
		17	・ なりきり弥生人生活（8/16～17、8/17～18）	文化財課
		19	・ 教育課程研究集会（小学校） ・ 第1回「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」運営指導委員会 ・ 教員向け講座 「先生のための天体望遠鏡活用講座」	小中学校課 高等学校課 博物館
		20	・ 科学の甲子園Jr県大会 ・ 英語教育推進委員会 第1回副教材作成担当者会	小中学校課 高等学校課
		21	・ 第2回教育委員会指定管理候補者審査委員会（鳥取県立生涯学習センター） ・ 銃砲刀剣類登録審査会（於：鳥取市）	家庭・地域教育課 文化財課
		23	・ 教育課程研究協議会（幼稚園） ・ 第3回県立高等学校入試改善研究専門委員会	小中学校課 高等学校課

年	月	日	記 事	担 当 課	
25	8	25	・ 県民スポレク祭 (8/24-2/15)	スポーツ健康教育課	
		28	・ 心とからだいきいきキャンペーン啓発下敷き配布	教育総務課	
			・ 島根大学教育学部と鳥取県教育委員会との連携協力推進協議会	教育総務課	
			・ 第2回ICTを活用した学びの支援事業職員研修会 (西部会場)	特別支援教育課	
			・ 埋蔵文化財専門職員研修 (発掘技術検討課程)	文化財課	
		30	・ 第1回コンプライアンス推進員研修会	教育総務課	
			・ 鳥取県立博物館協議会 (第1回)	博物館	
		31	・ 土曜自主セミナー (鳥取発!ものづくり～創る力を感じよう～)	教育センター	
			・ むきばんだ実験考古学講座①「カゴ復元実験3」 (~9/2)	文化財課	
		9	1	・ 第2回運動部活動外部指導者等研修会 (60人参加 東部)	スポーツ健康教育課
			2	・ 鳥取県家庭教育推進協力企業協定証授与式	家庭・地域教育課
				・ 「学校生活ガイドブック」を改訂し日本語版の他8カ国語に翻訳し、順次ホームページに掲載	人権教育課
	3		・ 第3回幼保小連携カリキュラム開発に係る開発委員会	小中学校課	
			・ 第2回いじめ・不登校対策本部会議	いじめ・不登校 総合対策センター	
	6		・ 来て!見て!!さわって!!!とっとり発掘速報展 西部展 (~9/8)	文化財課	
	7		・ 郷土文化講演会「震災の記憶を語り継ぐ」を開催	図書館	
	8		・ 発掘調査現地説明会「青谷横木遺跡」	文化財課	
	10		・ 第2回ICTを活用した学びの支援事業職員研修会 (東部会場)	特別支援教育課	
			・ 韓国江原道児童生徒交流団 (小・中・高校生等25名受入) (~9/13)	小中学校課、高等 学校課	
			・ 第2回高校生マナーアップさわやか運動 (~9/13 約4,600人参加)	高等学校課	
			・ 青谷横木遺跡出土木簡等展示 (於 青谷上寺地遺跡展示館、~9/16)	文化財課	
	11		・ 西部地区病弱特別支援学校高等部設置に係る生徒・保護者対象説明会	特別支援教育課	
	12		・ 平成26年度鳥取県立特別支援学校募集要項 (幼稚部・高等部・専攻科) 及び鳥取県立琴の浦高等特別支援学校入学者選抜実施要項説明会 (東部会場)	特別支援教育課	
			・ 高等学校における特別な支援を必要とする生徒支援ネットワーク会議 (西部地区第1回)	高等学校課	
	13		・ 平成26年度鳥取県立特別支援学校募集要項 (幼稚部・高等部・専攻科) 及び鳥取県立琴の浦高等特別支援学校入学者選抜実施要項説明会 (西部会場)	特別支援教育課	
			・ 一般図書室内に「いきいきライフ応援コーナー」を開設	図書館	
	15		・ 高校生英語弁論大会 (生徒22人参加)	高等学校課	
		・ 「いきいきライフ応援コーナー」開設記念講演会「認知症の最新情報～認知症の正しい理解と予防について～」を開催	図書館		
	17	・ 平成26年度鳥取県立特別支援学校募集要項 (幼稚部・高等部・専攻科) 及び鳥取県立琴の浦高等特別支援学校入学者選抜実施要項説明会 (中部会場)	特別支援教育課		
	19	・ 「幼児の成長を育む本の講座」を開催 (9/19倉吉市、9/25県立図書館、9/26米子市)	図書館		
20	・ 「赤松の荒神祭」 (大山町) の県無形民俗文化財指定、「赤波川溪谷のおう穴群」 (鳥取市) の県天然記念物指定	文化財課			
21	・ 鳥取県スポーツ指導者研修会 (63人参加 西部)	スポーツ健康教育課			
23	・ むきばんだまつり	文化財課			
25	・ 第1回ハートフルスペース連絡協議会	いじめ・不登校 総合対策センター			

年	月	日	記 事	担 当 課	
25	9	25	・「幼児の成長を育む本の講座」を開催（9/19倉吉市、9/25県立図書館、9/26米子市）	図書館	
		26	・鳥取県学力向上戦略本部第2回中高学力部会 ・「幼児の成長を育む本の講座」を開催（9/19倉吉市、9/25県立図書館、9/26米子市） ・「陶芸（保持者：前田昭博）」（鳥取市）の県無形文化財指定及び同保持者認定解除（「白磁（保持者：前田昭博）」の国重要無形文化財保持者認定による）	高等学校課 図書館 文化財課	
		27	・英語教育推進委員会 第2回副教材作成担当者会 ・第3回船上山少年自然の家運営委員会 ・韓国国立春川博物館との交流協議（～9/29）	高等学校課 家庭・地域教育課 博物館	
		28	・土曜自主セミナー（鳥取発！ものづくり2nd～創る力を感じよう～） ・青谷上寺地遺跡フォーラム2012「日本海を行き交う弥生の宝石～青谷上寺地遺跡の交流をさぐる～」 ・教員向け講座 「落書きばんざい！（秋編）」	教育センター 文化財課 博物館	
		29	・むきばんだ弥生講座③「はくつ体験教室」 ・サイエンスレクチャー「田邊博士講演会」	文化財課 博物館	
		10	1	・第2回英語教育推進委員会 ・「児童生徒の学ぶ意欲を育てる講座」（10/1倉吉市、10/2県立図書館、10/3米子市） ・「は～とふるサービスコーナー」をリニューアル ・体育専科教員配置校による公開学習及び研究会（11/28, 12/5）	高等学校課 図書館 図書館 スポーツ健康教育課
			2	・第3回大山青年の家運営委員会 ・「児童生徒の学ぶ意欲を育てる講座」（10/1倉吉市、10/2県立図書館、10/3米子市）	家庭・地域教育課 図書館
			3	・「児童生徒の学ぶ意欲を育てる講座」（10/1倉吉市、10/2県立図書館、10/3米子市）	図書館
			4	・家庭教育関係者研修会・ファシリテータフォローアップ研修会	家庭・地域教育課
			5	・発掘調査現地説明会「会下・郡家遺跡」 企画展「ファインバーグ・コレクション展 ―江戸絵画の奇跡―」（～11/10）	文化財課 博物館
	7		・第2回教職員研修等実施協議会	教育センター	
	8		・第2回「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」運営指導委員会 ・PTA日韓交流事業（9人訪韓）（～10/11）	高等学校課 家庭・地域教育課	
	9		・秋篠宮同妃両殿下 山陰海岸学習館ご視察	博物館	
	10		・第1回鳥取県キャリア教育推進会議 一般社団法人鳥取県中小企業診断士協会、公益財団法人鳥取県産業振興機構、株式会社日本政策金融公庫米子支店、鳥取県立図書館、及び米子市立図書館」と協定書締結	高等学校課 図書館	
	12		・シンポジウム「古代びと千年の記憶～よどえの魅力を探る・楽しむ・活かす～」 ・国史跡青谷上寺地遺跡土曜講座第3回「弥生の森と大地のめぐみ②～青谷上寺地遺跡の植物食～」	文化財課 文化財課	
	15	・西部地区病弱特別支援学校高等部設置に係る学校説明会	特別支援教育課		
	16	・第2回県・市町村（学校組合）教育行政連絡協議会	教育総務課		
	17	・武道実技講習会【柔道】（10人参加 中部）	スポーツ健康教育課		
	18	・県立図書館職員による「ビジネス情報相談会in米子市立図書館」を開始（10/18から毎月第3金曜日に開催）	図書館		
	20	・むきばんだ弥生の森講座④「木器づくり体験（初級・上級）」	文化財課		

年	月	日	記 事	担 当 課
25	10	21	・平成26年度県立皆生養護学校高等部（病弱）募集要項説明会（西部会場）	特別支援教育課
		22	・平成26年度県立皆生養護学校高等部（病弱）募集要項説明会（中部会場）	特別支援教育課
		24	・学力向上推進に係る説明会（～10/25）	小中学校課
			・鳥取県・バーモント州青少年交流（～11/4 アメリカ合衆国 生徒15人参加）	高等学校課
		25	・県立図書館・米子市立図書館連携事業 ビジネスライブラリー	図書館
			・フォーラム「地域産業を支える公共図書館の可能性」を開催（米子市）	図書館
		26	・ふるさと文学コーナー開設記念展示「近代日本文学とともに歩んだ鳥取の文学者たち」を開催（～11/29）	教育センター
			・土曜自主セミナー（「言葉の力」が生まれる！～聴くこと、伝えること（取材と報道）～）	文化財課
		27	・むきばんだ実験考古学講座②「絹織物復元研究3」（～10/27）	高等学校課
			・科学の甲子園鳥取県大会（生徒92人参加）	図書館
	29	・「手話で楽しむおはなし会」を開催	特別支援教育課	
		・平成25年度小中学校における特別支援教育に係る管理職研修会（東・中部会場）	特別支援教育課	
	11	5	・平成25年度小中学校における特別支援教育に係る管理職研修会（中・西部会場）	特別支援教育課
			・鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会	家庭・地域教育課
		6	・第1回手話学習教材作成委員会	特別支援教育課
		12	・県立高等学校入学者選抜実施要項説明会、県立特別支援学校募集要項説明会（東部11/8、中部11/7、西部11/6）	高等学校課
			・平成26年度鳥取県立皆生養護学校高等部（病弱）新設に係る保護者説明会	特別支援教育課
		14	・鳥取県学力向上戦略本部第3回中高学力部会	高等学校課
			・都道府県指定都市教育センター所長協議会第49回生物分科会（～11/15）	教育センター
		15	・平成25年度第2回鳥取県文化財保護行政担当者会議（於琴浦町）	文化財課
		16	・むきばんだ実験考古学講座①「カゴ復元実験4」（～11/18）	文化財課
			・発掘調査現地説明会「青谷上寺地遺跡」	文化財課
		17	・ロシアアルセーニエフ博物館との交流協議（～11/20）	博物館
	18	・第4回幼保小連携カリキュラム開発に係る開発委員会	小中学校課	
	20	・第3回いじめ・不登校対策本部会議	いじめ・不登校 総合対策センター	
・銃砲刀剣類登録審査会（於：米子市）		文化財課		
23	・企画展「鳥取藩二十二年と明治維新」（～12/23）	博物館		
24	・鳥取県教育センター創立40周年記念「サイエンスパーク」	教育センター		
	・むきばんだ弥生講座④「鉄器づくり」	文化財課		
26	・第3回「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」運営指導委員会	高等学校課		
27	・第2回コンプライアンス推進員研修会	教育総務課		
12	1	・第3回運動部活動外部指導者等研修会（53人参加 中部）	スポーツ健康教育課	
	2	・高等学校における特別な支援を必要とする生徒支援ネットワーク会議（東部地区第2回）	高等学校課	
	3	・いじめ防止対策推進法に係る説明会	いじめ・不登校 総合対策センター	
		・英語教育推進委員会 第3回副教材作成担当者会	高等学校課	
6	・第2回手話学習教材作成委員会	特別支援教育課		
		・新規高等学校等卒業生就職問題連絡会議、就職受験状況検討会議（東部12/12、中部12/10、西部12/6）	高等学校課	

年	月	日	記 事	担 当 課		
25	12	7	・土曜自主セミナー（感動！これぞ究極の集団行動）	教育センター		
		10	・新規高等学校等卒業生就職問題連絡会議、就職受検状況検討会議（東部12/12、中部12/10、西部12/6）	高等学校課		
		12	・鳥取県教育研究大会（兼スクラム教育推進フォーラム）	小中学校課		
			・土曜授業を考える集い	小中学校課		
			・新規高等学校等卒業生就職問題連絡会議、就職受検状況検討会議（東部12/12、中部12/10、西部12/6）	高等学校課		
		13	・「手話の本のコーナー」を開設	図書館		
			・国民体育大会知事表彰授賞式（受賞 選手63名 監督20名 ホテルモナーク）	スポーツ健康教育課		
		14	・国史跡青谷上寺地遺跡土曜講座第4回「今年度発掘調査の最新成果」	文化財課		
			・中国河北省博物館視察及び交流協議（～12/17）	博物館		
		15	・むきばんだ弥生講座⑤「玉づくり」	文化財課		
		18	・第2回相談窓口関係機関連絡会議	いじめ・不登校 総合対策センター		
		19	・第3回英語教育推進委員会	高等学校課		
			・平成25年度第3回鳥取県文化財保護行政担当者会議（於湯梨浜町）	文化財課		
		21	・「経営革新を目指す方へ！情報収集・活用力セミナー」を開催（～12/22）（米子市）	図書館		
		24	・高等学校における特別な支援を必要とする生徒支援ネットワーク会議（中部地区第1回）	高等学校課		
		25	・高校生合同勉強合宿（1年生）（～12/27 於：白兎会館 生徒55人参加）	高等学校課		
		26	1	10	・鳥取県教育審議会（第14回）	教育総務課
				11	・小中学生一日英語村体験（冬）（中学生1/11、小学生1/12）	高等学校課
					・企画展「Variations－絵画の多様性」（～2/14）	博物館
					環日本講演会を開催（全3回）	
				12	・「クラウドピアからの手紙」（1/12米子市）	図書館
					・「日本にやってきた中国の小説たち」（2/22県立図書館）	
					・「韓国を味わう」（3/8倉吉市）	
				17	・県民スポレク祭第2回実行委員会	スポーツ健康教育課
				18	・土曜自主セミナー（手話で心と心をつなぐ～手話でコミュニケーション～）	教育センター
20	・島根大学教育学部教師教育研究センター視察来所（～1/21）			教育センター		
24	・来て！見て！！さわって！！とっとり発掘速報展 東部展（～1/26）			文化財課		
	・鳥取県性教育指導実践研修会（倉吉未来中心71人）			スポーツ健康教育課		
26	・むきばんだ考古学講座特別講義「出雲大社の創祀創建を考える」			文化財課		
	・第4回運動部活動外部指導者等研修会（6人参加 中部）			スポーツ健康教育課		
28	・第1回子どもの体力向上支援委員会			スポーツ健康教育課		
29	・第3回手話学習教材作成委員会			特別支援教育課		
30	・第2回鳥取県キャリア教育推進会議			高等学校課		
26	2			1	・土曜自主セミナー（ネットコモンズVer. 2活用入門）	教育センター
			・高校生理数課題研究等発表会（生徒47人参加）	高等学校課		
			・高校生まんが王国とっとり応援団著名人との交流会（眞賀里文子氏、生徒20人参加）	高等学校課		
		5	・銃砲刀剣類登録審査会（於：鳥取市）	文化財課		
		6	・専門高校活動成果発表大会（生徒約270人参加）	高等学校課		

年	月	日	記 事	担 当 課	
26	2	7	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめのない学校づくりをめざして～いじめ防止対策推進法を踏まえて」研修会 第4回「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」運営指導委員会 ケータイ・インターネットを考える高校生フォーラム（委託） 「図書館で夢を実現しました大賞」の表彰式を開催 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・不登校総合対策センター 高等学校課 家庭・地域教育課 図書館 	
		8	<ul style="list-style-type: none"> 国史跡青谷上寺地遺跡土曜講座第5回「弥生の森と大地のめぐみ③～青谷上寺地遺跡の木材利用～」 	文化財課	
		12	<ul style="list-style-type: none"> 第2回ハートフルスペース連絡協議会 	いじめ・不登校総合対策センター	
		13	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県町村教育庁会からの要望に関する意見交換会 鳥取県教育センター研究発表会（～2/14） 県立高等学校推薦入学者選抜 	<ul style="list-style-type: none"> 教育総務課 教育センター 高等学校課 	
		15	<ul style="list-style-type: none"> 土曜自主セミナー（未来の学びを創る） とっとり発掘物語展～出土品が語る地域の歴史～（～3/23） 	<ul style="list-style-type: none"> 教育センター 文化財課 	
		16	<ul style="list-style-type: none"> 江原道教育庁との次年度教育交流事業実務協議（6名訪韓）（～2/18） 	教育総務課	
		17	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援ボランティア研修会（東部：2/21，中部：2/17，西部：2/17） 鳥取・鳥根連携講座連絡協議会 ダンス実技講習会（6人参加 中部） 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校課、家庭・地域教育課 いじめ・不登校総合対策センター スポーツ健康教育課 	
		18	<ul style="list-style-type: none"> 第2回鳥取県文化財保護審議会 第2回鳥取県子どもの体力向上支援委員会 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財課 スポーツ健康教育課 	
		21	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援ボランティア研修会（東部：2/21，中部：2/17，西部：2/17） 第2回県立学校第三者評価委員会 「ふるさと人物コーナー」開設記念展示「日本近代化への礎」展を開催（～3/23） 環日本講演会を開催（全3回） 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校課、家庭・地域教育課 高等学校課 図書館 	
		22	<ul style="list-style-type: none"> 「クラウドディアからの手紙」（1/12米子市） 「日本にやってきた中国の小説たち」（2/22県立図書館） 「韓国を味わう」（3/8倉吉市） 企画展「没後50年 菅 橋彦展 一浪速の粹 雅人のこころー」（～4/6） 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館 博物館 	
		25	<ul style="list-style-type: none"> エキスパート教員選考委員会 高等学校における特別な支援を必要とする生徒支援ネットワーク会議（西部地区第2回） 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校課、高等学校課、特別支援教育課 高等学校課 	
		26	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県学校体育主任連絡協議会（倉吉体育文化会館他 200人） 	スポーツ健康教育課	
		27	<ul style="list-style-type: none"> 事務局指導主事等ICT活用研修 鳥取県学校安全（交通安全・防犯）研修会（倉吉体育文化会館116人） 	<ul style="list-style-type: none"> 教育センター スポーツ健康教育課 	
		28	<ul style="list-style-type: none"> 第3回ICTを活用した学びの支援事業職員研修会 	特別支援教育課	
		3	2	<ul style="list-style-type: none"> 山陰海岸学習館3D映像第2弾完成・公開（さかなクンイベント） 	博物館
		4	<ul style="list-style-type: none"> 山陰海岸学習館において、山陰海岸ジオパークの魅力を紹介した第2弾3D映像「神秘と生命の物語」の上映を開始 	博物館	
		6	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度鳥取県立特別支援学校（幼稚部・高等部・専攻科）入学者募集及び一般入学者選抜 県立高等学校一般入学者選抜（～3/7） 環日本講演会を開催（全3回） 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育課 高等学校課 	
		8	<ul style="list-style-type: none"> 「クラウドディアからの手紙」（1/12米子市） 「日本にやってきた中国の小説たち」（2/22県立図書館） 「韓国を味わう」（3/8倉吉市） 	図書館	
		10	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県教育審議会（第15回） 	教育総務課	

年	月	日	記 事	担 当 課
26	3	14	・ 児童図書室内に「子ども読書応援ルーム（学校図書館応援コーナー、子ども読書応援コーナー）」開設	図書館
			・ 埋蔵文化財専門職員研修（遺物調査検討課程）	文化財課
		15	・ 「親子で楽しむものがたりの世界」	家庭・地域教育課
		16	・ 世界で学ぶ！高校生海外体験推進事業（～3/23 韓国、シンガポール 生徒17人参加、含む英語弁論・理数課題研究等優秀者）	高等学校課
			・ 平成25年度民俗芸能フォーラム「民俗芸能等の保存伝承の問題～担い手の確保～」	文化財課
		20	・ 国民体育大会冬季大会知事表彰授賞式（受賞 選手1名 監督1名 県庁）	スポーツ健康教育課
		24	・ 第4回いじめ・不登校対策本部会議	いじめ・不登校 総合対策センター
			・ 地域伝統文化功労者表彰伝達式	文化財課
			・ 鳥取県立博物館協議会（第2回）	博物館
		25	・ エキスパート教員認定式	小中学校課、高等学校課、特別支援教育課
			・ 平成26年度鳥取県立鳥取盲学校高等部保健医療科及び専攻科理療科再募集入学者選抜	特別支援教育課
			・ 県立高等学校再募集入学者選抜	高等学校課
・ 高校生まんが王国とっとり応援団韓国訪問（～3/28 江原アニメーション高校 生徒8人参加）	高等学校課			
26	・ 鳥取県家庭教育推進協力企業協定証授与式	家庭・地域教育課		
	・ 平成26年度「鳥取県の子どもたちの未来のための教育に関する協約」調印式	教育総務課		
28	・ 第2回学校の通学路安全対策会議	スポーツ健康教育課		

(2) 教育委員会等の開催概要

①教育委員会（年12回開催）

4月23日	議案(5件)	「1.平成25年度鳥取県教科用図書選定審議会への諮問について」 「2.鳥取県教育審議会への諮問について」 「3.鳥取県文化財保護審議会への諮問について」 「4.公文書非開示決定処分に係る審査請求に対する裁決について」 「5.鳥取県スポーツ審議会臨時委員の委嘱について」
	報告事項(16件)	「鳥取県教育委員会施設保全計画の策定について」外15件
5月22日	議案(3件)	「1.平成26年度鳥取県立高等学校入学者選抜方針について」 「2.平成26年度鳥取県立高等特別支援学校入学者選抜方針について」 「3.平成26年度鳥取県立特別支援学校(幼稚部・高等部・専攻科)入学者募集及び選抜方針について」
	報告事項(15件)	「県立高等学校における平成26年度使用教科書の選定方針及び採択について」外14件
6月28日	議案(1件)	「1.鳥取県文化財保護審議会への諮問について」
	報告事項(21件)	「平成25年度第1回鳥取県学力向上戦略本部会議の概要について」外20件
7月16日	議案(3件)	「1.平成24年度教育行政の点検及び評価について」 「2.公立学校教職員の懲戒処分について」 「3.公立学校教職員の懲戒処分について」
	報告事項(8件)	「平成25年度鳥取県教科用図書選定審議会の答申について」外7件
8月6日	議案(2件)	「1.鳥取県教育委員会職員服務規程の一部改正について」 「2.鳥取県教育審議会委員の任命について」
	報告事項(6件)	「平成26年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験について」外5件
9月6日	議案(5件)	「1.鳥取県立学校管理規則の一部改正について」 「2.平成26年度鳥取県立高等学校募集生徒数について」 「3.文化財の県指定について」 「4.公立学校教職員の分限処分について」 「5.鳥取県就学指導委員会委員の任命について」
	報告事項(21件)	「平成25年度第2回鳥取県学力向上戦略本部会議の概要について」外20件
	協議事項(2件)	「1.鳥取県教育振興基本計画の改訂について」 「2.西部地区への病弱特別支援学校高等部設置について」
10月28日	議案(4件)	「1.鳥取県立学校管理規則の一部改正について」 「2.鳥取県文化財保護審議会への諮問について」 「3.平成25年度鳥取県教育委員会表彰について」 「4.公立学校教職員の懲戒処分について」
	報告事項(20件)	「平成25年度第3回鳥取県学力向上戦略本部会議の概要について」外19件
11月18日	議案(1件)	「1.平成25年度末公立学校教職員人事異動方針について」
	報告事項(12件)	「鳥取県手話言語条例の施行に伴う取組状況について」外11件
	協議事項(1件)	「1.鳥取県教育振興基本計画の改訂について」
12月20日	議案(4件)	「1.平成27年度県立高等学校の学級減について」 「2.鳥取県立学校管理規則の一部改正について」 「3.鳥取県文化財保護審議会への諮問について」 「4.公立学校教職員の懲戒処分について」
	報告事項(13件)	「平成24年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

協議事項(1件) について」外12件
「1. 鳥取県いじめの防止等のための基本的な方針案等について」

1月17日

議案(2件) 「1. 委員長の選出」
「2. 委員長職務代行者の指定」
報告事項(10件) 「「鳥取県幼保小連携カリキュラム」の開発について」外9件

2月4日

議案(5件) 「1. 平成26年度鳥取県公立小・中・特別支援学校学級編制基準について」
「2. 鳥取県教育審議会への諮問について」
「3. 鳥取県教育審議会委員及び専門委員の任命について」
「4. 鳥取県文化財保護審議会委員の任命について」
「5. 鳥取県育英奨学資金貸与規則の一部改正について」
報告事項(10件) 「鳥取県いじめの防止等のための基本的な方針(案)のパブリックコメントについて」外9件

3月21日

議案(25件) 「1. 教育長の任命について」
「2. 教育委員会事務局局人事(課長級以上)について」
「3. 市町村(学校組合)立学校長人事について」
「4. 平成26年度鳥取県教科用図書選定審議会委員の任命について」
「5. 県立特別支援学校長人事について」
「6. 欠番」
「7. 県立高等学校長人事について」
「8. 県立高等学校事務長(課長相当職)人事について」
「9. 鳥取県文化財保護審議会専門委員の任命について」
「10. 鳥取県立博物館協議会委員の任命について」
「11. 鳥取県教育振興基本計画の改訂について」
「12. 平成26年度アクションプランについて」
「13. 平成26年4月の組織改正等に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則の新設について」
「14. 鳥取県教育委員会事務処理権限規程の一部改正について」
「15. 教育委員会事務局局職員の任免発令規程の一部改正について」
「16. 鳥取県教育職員の免許状の授与等に関する規則の一部改正について」
「17. 鳥取県いじめの防止等のための基本的な方針の策定について」
「18. 鳥取県立学校管理規則の一部改正について」
「19. 鳥取県立高等学校学則の一部改正について」
「20. 鳥取県立高等学校現業職員労働組合との労働協約の一部改訂について」
「21. 現業職員の給与に関する規則等の一部改正について」
「22. 鳥取県立大山青年の家の管理運営に関する規則及び鳥取県立船上山少年自然の家の管理運営に関する規則の一部改正について」
「23. 欠番」
「24. 欠番」
「25. 鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン(第3次計画)の策定について」
「26. 鳥取県育英奨学資金貸与規則の一部改正について」
「27. 文化財の県指定について」
「28. 鳥取県スポーツ推進計画の策定について」
報告事項(36件) 「教育委員会事務局局人事について」外35件
協議事項(1件) 「1. 平成26年度教育振興協約の締結について」

②臨時教育委員会(2回開催)

10月7日

協議事項(1件) 「1. 鳥取県教育振興基本計画の改訂について」

3月26日 議案 (1件) 「1.平成26年度教育振興協約の締結について」

③委員研修会 (年6回開催)

- ▽ 4月23日 「ネットいじめの現状について」
- ▽ 4月23日 「平成25年度教育委員会事務局主要懸案事項」
- ▽ 6月28日 「今後の本県教育の進め方について」
- ▽ 7月16日 「今後の本県教育の進め方について」
- ▽ 7月16日 「いじめ防止対策推進法について」
- ▽ 7月16日 「土曜授業について」
- ▽ 8月6日 「学力向上に関する教員と教育委員との意見交換会について」
- ▽ 12月20日 「スクールサポーターとの意見交換について」
- ▽ 2月4日 「同和問題に対する取組と課題の整理について」
- ▽ 2月4日 「今後の地方教育行政の在り方について」

④委員協議会 (年17回開催)

- ▽ 4月23日 「平成26年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験について」外7件
- ▽ 5月22日 「鳥取県教育振興基本計画の改訂について」外2件
- ▽ 6月28日 「「平成24年度教育行政の点検及び評価」(案)について」外4件
- ▽ 7月16日 「鳥取県教育振興基本計画の改訂について」外9件
- ▽ 7月31日 「教育委員会における不祥事の発生及び再発防止の取組について」
- ▽ 8月6日 「鳥取県教育振興基本計画の改訂について」外9件
- ▽ 8月27日 「公立学校教職員の分限処分について」
- ▽ 9月6日 「平成25年度鳥取県教育委員会表彰について」外1件
- ▽ 10月7日 「教育振興協約について」外3件
- ▽ 10月28日 「教育振興基本計画及び教育振興協約について」外1件
- ▽ 11月18日 「いじめ防止対策推進法を踏まえた今後の対応について」外3件
- ▽ 12月20日 「教育振興協約について」外6件
- ▽ 1月17日 「子どものスポーツ活動ガイドラインについて」外8件
- ▽ 2月4日 「鳥取県立博物館協議会委員の改選案について」外6件
- ▽ 2月27日 「スポーツに関する事務の移管及び鳥取県スポーツ推進計画の策定について」外3件
- ▽ 3月9日 「教育委員会事務局人事(課長級以上)について」外5件
- ▽ 3月21日 「平成25年度点検評価の教育委員の自己評価案について」外2件

(3) 刊行物一覧

名 称	課・所 名	発行時期	発行部数	頁数
教育だより「とっとり夢ひろば」(67号~71号)	教育総務課	年 5 回	513,500	8
心とからだいきいきキャンペーン4コマまんがポスター	教育総務課	H25. 5	1,300	1
心とからだいきいきキャンペーン啓発のぼり	教育総務課	H25. 5	300	1
心とからだいきいきキャンペーン啓発下敷き	教育総務課	H25. 9	7,000	1
とっとりの教育(平成25年度版)日本語・英語	教育総務課	H25. 10	300	8
とっとりの教育(平成25年度版)日本語・韓国語	教育総務課	H25. 10	300	8
鳥取県教育振興基本計画リーフレット	教育総務課	H26. 3	5,000	6
みんなでつくろう!とっとりの学び ~みんなで学ぶ楽しさを実感しよう~(小学校用ポスター)	小中学校課	H25. 10	2,000	1
みんなでつくろう!とっとりの学び ~みんなで学ぶ楽しさを実感しよう~(中学校用ポスター)	小中学校課	H25. 10	900	1
みんなでつくろう!とっとりの学び -平成25年度全国学力・学習状況調査から- (小学生家庭用)	小中学校課	H25. 10	33,750	2
みんなでつくろう!とっとりの学び -平成25年度全国学力・学習状況調査から- (中学生家庭用)	小中学校課	H25. 10	17,300	2
みんなでつくろう!とっとりの学び -平成25年度全国学力・学習状況調査から- (教師用)	小中学校課	H25. 10	6,150	6
平成24~25年度少人数学級を活かす学びと指導の創造事業	小中学校課	H26. 3	900	110
鳥取県幼保小連携カリキュラム	小中学校課	H26. 3	1,500	62
「手話のあいさつやってみよう!」チラシ	特別支援教育課	H25. 11	80,000	1
手話ハンドブック(入門編)	特別支援教育課	H26. 2	80,000	72
相談窓口カード	いじめ・不登校対策センター	H25. 7	100,000	1
鳥取県いじめ防止対策ガイドブック	いじめ・不登校対策センター	H26. 3	700	96
教育相談リーフレット	教育センター	H26. 3	3,000	4
平成26年度「高校ガイド」	高等学校課	H25. 7	7,400	16
中学校進路指導資料「輝け!夢」(平成25年度版)	高等学校課	H25. 10	7,400	128
「未来をひらく鳥取学」学習ノート(委託)	家庭・地域教育課	H25. 4	1,200	26
生涯学習とっとり	家庭・地域教育課	年6回	4,300	28
とっとり子育て親育ちプログラム(思春期版)	家庭・地域教育課	H25. 5	1,800	56
電話相談カード(子育てホットライン)	家庭・地域教育課	年2回	117,600	2
小学生スタートブック	家庭・地域教育課	H25. 12	6,000	8
鳥取県家庭教育推進協力企業紹介冊子	家庭・地域教育課	H26. 2	2,600	40
ケータイ・インターネット教育啓発リーフレット(委託)	家庭・地域教育課	H26. 3	30,000	6
平成25年度学校支援ボランティア・放課後子どもプラン実践事例集	家庭・地域教育課	H26. 3	850	69
「未来をひらく鳥取学」記録集(委託)	家庭・地域教育課	H26. 3	1,200	48
「まんがで読む鳥取県 郷土が生んだ文学者たち」	図書館	H26. 3	1,500	40
教師用指導資料「拉致問題に対する理解を深めるために」	人権教育課	H26. 3	500	15

名 称	課・所 名	発行時期	発行部数	頁数
青谷上寺地遺跡フォーラム2013「日本海を行き交う弥生の宝石～青谷上寺地遺跡の交流をさぐる～」	文化財課	H25. 9	1,000	70
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告59「青谷上寺地遺跡13 第13次・第14次発掘調査報告書」	文化財課	H26. 3	700	550
青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報2013	文化財課	H26. 3	600	34
青谷上寺地遺跡の骨角器	文化財課	H26. 3	10,000	4
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書54	文化財課	H26. 1	293	216
一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔西坪中中畝遺跡〕				
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書55	文化財課	H26. 3	293	342
一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔殿河内上ノ段大ブケ遺跡〕				
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書56	文化財課	H26. 3	292	192
一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔下甲退休原第1遺跡〕				
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書57	文化財課	H26. 3	293	416
一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔殿河内ウルミ谷遺跡〕				
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書58	文化財課	H26. 3	299	440
一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔赤坂小丸山遺跡〕				
小学校用歴史教材「鳥取県の歴史」	文化財課	H26. 3	600	62
鳥取県埋蔵文化財センター調査研究紀要5	文化財課	H26. 3	600	60
妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2013	文化財課	H26. 3	450	66
鳥取県立むきばんだ史跡公園年報2012	文化財課	H26. 3	300	57
馬場八幡人形芝居道具調査報告書	文化財課	H26. 3	500	118
とっとり文化財イベントガイド	文化財課	H25. 9	10,000	48
小中学校校外学習ガイド「弥生のふしぎ」	文化財課	H26. 3	10,000	8
山陰史跡ガイドブック第3巻(改訂版)	文化財課	H26. 3	4,000	48
企画展「サルとヒト展」図録	博物館	H25. 7	500	60
鳥取県立博物館ニュース⑩	博物館	H25. 9	10,000	8
企画展「鳥取藩と二十二士展」図録	博物館	H25. 11	900	128
年報第41号(平成24年度)	博物館	H26. 1	320	100
企画展「Variations展」図録	博物館	H26. 1	600	98
企画展「菅 楯彦展」図録	博物館	H26. 2	1,100	334
博物館ニュース⑪	博物館	H26. 3	10,000	8
研究報告第51号	博物館	H26. 3	420	168
鳥取県スポーツ推進計画	スポーツ健康教育課	H26. 3	1,000	62
鳥取県スポーツ推進計画【概要版】リーフレット	スポーツ健康教育課	H26. 3	3,000	8
子どものスポーツ活動ガイドライン	スポーツ健康教育課	H26. 3	2,200	27
子どものスポーツ活動ガイドライン【概要版】リーフレット	スポーツ健康教育課	H26. 3	2,200	4